

# 令和5年度 富山市市民学習センター運営協議会資料

## I 条例・施行規則

## II 施設概要

## III 令和5年度 事業報告

- 1 事業概要
- 2 年間事業
- 3 市民大学開設事業
- 4 生涯学習の啓発事業
- 5 市民大学受講者の年齢構成
- 6 市民大学受講者数等の推移

## IV 令和5年度 富山市民大学に関する アンケート結果報告

## V 令和6年度 事業計画案

- 1 スケジュール
- 2 令和6年度 富山市民大学の概要

# I 富山市市民学習センター条例・施行規則

平成17年4月1日施行

## ＜条例抜粋＞

### （運営協議会）

第14条 センターの運営に関し必要な事項を協議するため、富山市市民学習センター運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。
- 3 協議会の委員は、生涯学習に関し優れた識見を有する者及び生涯学習関係団体等を代表する者のうちから委員会が委嘱する。
- 4 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

### （委任）

第15条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

## ＜施行規則抜粋＞

### （協議会）

第6条 条例第14条に規定する富山市市民学習センター運営協議会（以下「協議会」という。）に会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 会長に事故があるときは、あらかじめ、会長の指定した委員がその職務を代理する。

### （会議）

第7条 協議会は、会長が招集し、その会議の議長となる。

- 2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

### （庶務）

第8条 協議会の庶務は、センターにおいて処理する。

## II 施設概要

### ◎ 富山市民学習センター

- (1) 所在地 富山市大手町6番 14 号
- (2) 施設 富山市民プラザ 3階・4階 1,454.57 m<sup>2</sup>(440.7 坪)
- (3) 設置 昭和 55 年4月 社会教育センター  
平成 2 年4月 市民学習センターに名称変更
- (4) 開館日時 午前9時～午後5時(日曜・祝日・振替休日・年末年始は休館)
- (5) 施設内容

	区 分	面 積	収容人数
3 階	子どものアトリエ	65.27 m <sup>2</sup>	16 人
	ア ト リ エ	89.06 m <sup>2</sup>	32 人
	アートライブラリー	102.64 m <sup>2</sup>	24 人
	調 理 室	68.40 m <sup>2</sup>	24 人
	事 務 室 等	360.39 m <sup>2</sup>	20 人
	計	685.76 m <sup>2</sup>	116 人
4 階	講 義 室 1	151.30 m <sup>2</sup>	70 人
	講 義 室 2	83.70 m <sup>2</sup>	28 人
	講 義 室 3	70.20 m <sup>2</sup>	30 人
	サ ー ク ル 室 1	33.68 m <sup>2</sup>	16 人
	サ ー ク ル 室 2	28.63 m <sup>2</sup>	12 人
	サ ー ク ル 室 3	28.63 m <sup>2</sup>	12 人
	サ ー ク ル 室 4	33.68 m <sup>2</sup>	16 人
	サ ー ク ル 室 5	33.68 m <sup>2</sup>	6 人
	控 え 室 ・ 倉 庫 等	199.84 m <sup>2</sup>	5 人
	計	663.34 m <sup>2</sup>	195 人
	地 下 倉 庫	105.47 m <sup>2</sup>	

### ◎ 富山市民大学陶芸実習施設(花木)

- (1) 所在地 富山市花木 28
- (2) 面積 106.86 m<sup>2</sup>(32.4 坪)
- (3) 設置 平成 25 年3月
- (4) 開館日 富山市民大学陶芸コース開設日のみ
- (5) 施設内容

	区 分	面 積	収容人数
1 階	学 習 ス ペ ー ス	64.03 m <sup>2</sup>	10 人
	窯 室	16.51 m <sup>2</sup>	
	ホ ー ル そ の 他	26.32 m <sup>2</sup>	
	計	106.86 m <sup>2</sup>	10 人

### Ⅲ 令和5年度 事業報告

#### 1 事業概要

区分		事業趣旨・内容等	R4年度実績
学習機 会の 拡 充	市民 大学 開設	<p>市民の生涯学習を支援するため、系統のかつ継続的な学習機会を提供する。</p> <p>◇受講者数 1,685 人</p> <p>◇出席延べ人数 13,395 人 (543回)</p> <p>◇コース数 53 コース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般 37 コース</li> <li>・創作 9 コース</li> <li>・プラネット 7 コース</li> </ul>	<p>1,545 人</p> <p>12,464 人 (552回)</p> <p>全 53 コース</p> <p>37 コース</p> <p>9 コース</p> <p>7 コース</p>
	生涯 学習 の 啓 発	<p>市民の誰もが学ぶ意欲を育み、生きがいを見い出すことができるよう多様な学習機会を提供し、世代を超え生涯学習への認識を高める。</p> <p>◇特別講演会 年4回 ( 507人)</p> <p>◇特別講義 年5回 ( 251人)</p> <p>◇富山市民大学祭 3日間 ( 1,260人)</p> <p>◇わくわくキッズ教室 (夏・冬休み) 年6回 (64組 141人)</p> <p>◇学報、叢書の刊行 学報1冊、叢書1冊</p>	<p>年4回 (539人)</p> <p>年5回 (204人)</p> <p>3日間 (1,397人)</p> <p>6回 (49組 104人)</p> <p>学報1冊、叢書1冊</p>
生涯 学習 団 体 等 支 援	<p>学習団体・サークル等に学習の場を提供し、市民の学習活動を支援する。</p> <p>◇各種学習団体・サークルへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民学習センター (市民プラザ内) 24サークル</li> </ul> <p>◇富山市民大学学友会への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民大学受講者の親睦と連携意識を育むとともに、自主的な活動による学習の支援を図る。</li> </ul>	<p>27サークル</p>	
生涯 学習 情 報 提 供 ・ 相 談	<p>学習活動を推進するため、学習内容・方法・プログラムの企画立案及び講師紹介等の相談業務を行う。</p> <p>学習相談時間 月～金曜日 9:00～17:00</p> <p>学習相談・情報提供件数 66件 (1月末現在)</p> <p>◇富山市ホームページによる情報提供</p> <p>◇富山県生涯学習情報提供 (とやま学遊ネットワーク)</p>	<p>136件</p>	

## 2 年間事業

月 ・ 日	事 項
令和5年	
4/7、8、10	富山市民大学受講手続き及び追加募集、学友会入会手続き
4/17	令和5年度 富山市民大学開講式・特別講演会 「自分づくりと仲間づくり、健康づくりが未来を変える」ラグビー編 プロフェッショナルラグビーコーチ 大西 一平 氏
4/20	富山市民大学コース スタート
8/1～8/9	夏休みわくわくキッズ教室（全5講座）
8/31	「叢書95号」発刊
11/3	山田地域文化祭特別講演会 「～笑いコミュニケーション～」 落語家 三遊亭 良楽 師匠 ※文化祭は、山田公民館主催
11/30～12/2	第43回富山市民大学祭
(11/30)	特別講演会「地域とともに歩む～県民クラブとしての成長を」 株式会社カターレ富山 代表取締役社長 左伴 繁雄 氏
(12/2)	公開講座「影絵から広がる世界」 影絵師 ジャック・ランドル 氏
12/12	富山市民大学 全コース終了
12/26	冬休みわくわくキッズ教室（1講座）
令和6年	
1/12～1/30	特別講義（5講義）
2/9	富山市民大学閉講式・特別講演会 「落語で紡ぐ故郷への想いー『とやま噺』創作への挑戦ー」 落語家 柳家 さん生 師匠
2/16	富山市民学習センター運営協議会
3/4～3/6	令和6年度 富山市民大学受講申込み受付
3/31	「学報2023」発刊

### 3 市民大学開設事業

	コース名	定員	受講者数	修了者数
一般	富山の環境の未来を学ぶ	25	13	10
	富山のまちのこれからを考える	25	12	8
	立山黒部ジオパークを知る	60	42	29
	郷土の歴史	60	73	53
	墳墓・古墳・お墓の考古学	60	50	40
	富山の民話	25	19	10
	日本の歴史	60	72	48
	世界の歴史	60	70	50
	中国史に学ぶ	60	46	39
	生活文化の歴史	25	12	6
	歴史史料をひもとく	25	23	15
	古典歌謡への旅	25	11	7
	おくのほそ道をよむ	25	20	16
	漢詩漢文の世界へ	25	28	27
	古文入門	25	52	42
	江戸時代の文学を読む	25	27	20
	くらしを彩る短歌の楽しみ	25	22	18
	俳句入門	20	29	24
	川柳を楽しむ	20	19	14
	文学へのいざない	25	25	14
	落語のはなし	140	153	113
	日本の歌、世界の歌	50	49	40
	音楽サロン	60	45	33
	世界の国々	60	72	49
	美術の世界	30	36	26
	生活医学薬学を学ぶ	60	42	35
	健康生活の知恵	60	60	42
	楽しい脳トレーニング	60	36	29
	豊かな心	130	101	76
	リズム体操	30	38	23
	100歳まで歩こう	30	27	16
	暮らしの実学	60	43	34
	楽しい法律	60	60	51
	郷土の料理	18	19	17
家庭でできる『やくぜん料理』	18	20	16	
季節の和菓子づくり	12	12	12	
スイーツでO・MO・TE・NA・SHI	12	12	12	

	コース名	定員	受講者数	修了者数		
創作	洋画	20	25	24		
	日本画	20	29	28		
	版画	20	15	14		
	切り絵	20	7	5		
	篆刻	20	11	11		
	陶芸	前期	A	10	9	9
			B	10	8	8
		後期	A	10	9	9
			B	10	10	10
	プラネット	富山の郷土玩具”土人形”を作ろう	16	10	9	
日本画（大沢野）		16	16	15		
うまい水のルーツを探る		20	11	8		
現代切り絵		8	3	3		
手作り銀粘土 アクセサリー		前期	12	11	10	
		後期	12	9	9	
飛越往來	15	12	10			
計	53コース	1,829	1,685	1,296		

実人数（受講者） 1,165人

※受講者数は、受講手続きを行った者の数とする。  
 ※修了者数は、7割以上の出席があった者の数とする。

## 4 生涯学習の啓発事業

### (1) 特別講演会

	日 程	演 題	講 師	会 場	参加人数
1	開 講 式 4月17日(月)	「自分づくりと仲間づくり、健康づくりが未来を変える」ラグビー編	プロフェッショナルラグビーコーチ 大西 一平	市民プラザ アンサンブルホール	114人
2	プラネット 11月3日(金)	～笑いとコミュニケーション～	落語家 三遊亭 良楽	山田公民館	160人
3	大 学 祭 11月30日(木)	地域とともに歩む ～県民クラブとしての成長を～	株式会社カターレ富山 代表取締役社長 左伴 繁雄	市民プラザ アンサンブルホール	51人
4	閉 講 式 令和6年 2月9日(金)	落語で紡ぐ故郷への想い －「とやま噺」創作への挑戦－	落語家 柳家 さん生	市民プラザ アンサンブルホール	182人

### (2) 特別講義

(会場: 富山市民学習センター)

回	日 程	講 義 題	講 師	参加人数
1	1月12日(金)	相続の基礎 －法改正を知って最後まで私らしく－	高岡法科大学専任講師 後藤 亜季	71人
2	1月17日(水)	世界をわたる富山のガラス芸術	富山市ガラス美術館 館長 土田 ルリ子	23人
3	1月22日(月)	生活に活かす漢方の考え方 －和漢薬の飲み方、効かせ方－	富山大学附属病院薬剤部 教授・薬剤部長 加藤 敦	57人
4	1月24日(水)	橋本家文書に「みる」富山藩 －西猪谷関所を通った人々－	猪谷関所館 元館長 加藤 敏一	34人
5	1月30日(火)	おくのほそ道をよむ	富山高等専門学校 名誉教授 高熊 哲也	66人

### (3) 第43回富山市民大学祭 ※参加人数 1,260人

(会場: 富山市民プラザ)

日 程	内 容	発表コース・講演内容など
11月30日(木) ～ 12月2日(土)	学 習 発 表 (アトリウム)  作 品 展 (アートギャラリー)	一般・プラネット各コース学習発表及び学友会活動紹介のパネル 展示  創作コース: 洋画・日本画・版画・切り絵・初めての篆刻・陶芸 プラネットコース: 富山の郷土玩具“土人形”を作ろう・日本画(大沢 野)・現代切り絵・手作り銀粘土アクセサリー
11月30日(木) 午後	特 別 講 演 会 (アンサンブルホール)	「地域とともに歩む ～県民クラブとしての成長を～」 講師: 左伴 繁雄 (株式会社カターレ富山 代表取締役社長)
12月1日(金) 午後	ス テ ー ジ 発 表 (アンサンブルホール)	富山の民話、リズム体操
12月2日(土) 午前	公 開 講 座 (アンサンブルホール)	「影絵から広がる世界」 講師: ジャック・ランダル (影絵師、市民大学「美術の世界」コース講師)

#### (4) わくわくキッズ教室

小学校1年生から3年生までを対象に、親子のコミュニケーションを図りながら、身近にある材料で造形活動を楽しむ講座  
(会場:富山市民学習センター)

	日 程		指 導 講 師	受講者数
夏 休 み	8月1日(火)	折り紙 ー夢のくに！サーカスへー	日本折紙協会講師 中川 靖子	11組 23人
	8月3日(木)	風流和菓子づくり	茶道講師 種谷美智子	16組 33人
	8月4日(金)			11組 33人
	8月8日(火)	森のクラフト工作	富山県林業カレッジ指導者の先生方 4名	6組 13人
	8月9日(水)	土人形の絵付け	土人形制作講師 古川 圭子	8組 19人
冬 休 み	12月26日(火)	たのしい七宝焼	「シニアライフ講座」七宝焼講師 岡部八穂子	12組 30人

#### (5) 富山市民大学叢書・学報の刊行

##### ① 叢書

- ・「自分づくりと仲間づくり、健康づくりが未来を変える」ラグビー編  
令和5年8月発行  
大西 一平  
(プロフェッショナルラグビーコーチ)

・叢書年間販売数(令和6年1月30日現在) 80冊

※所蔵冊数 令和5年3月31日現在 937冊(平成3年度～令和4年度発行)

令和5年度発行数 80冊

計 1,017冊

##### ② 学報 「学報2023」

令和6年3月発行



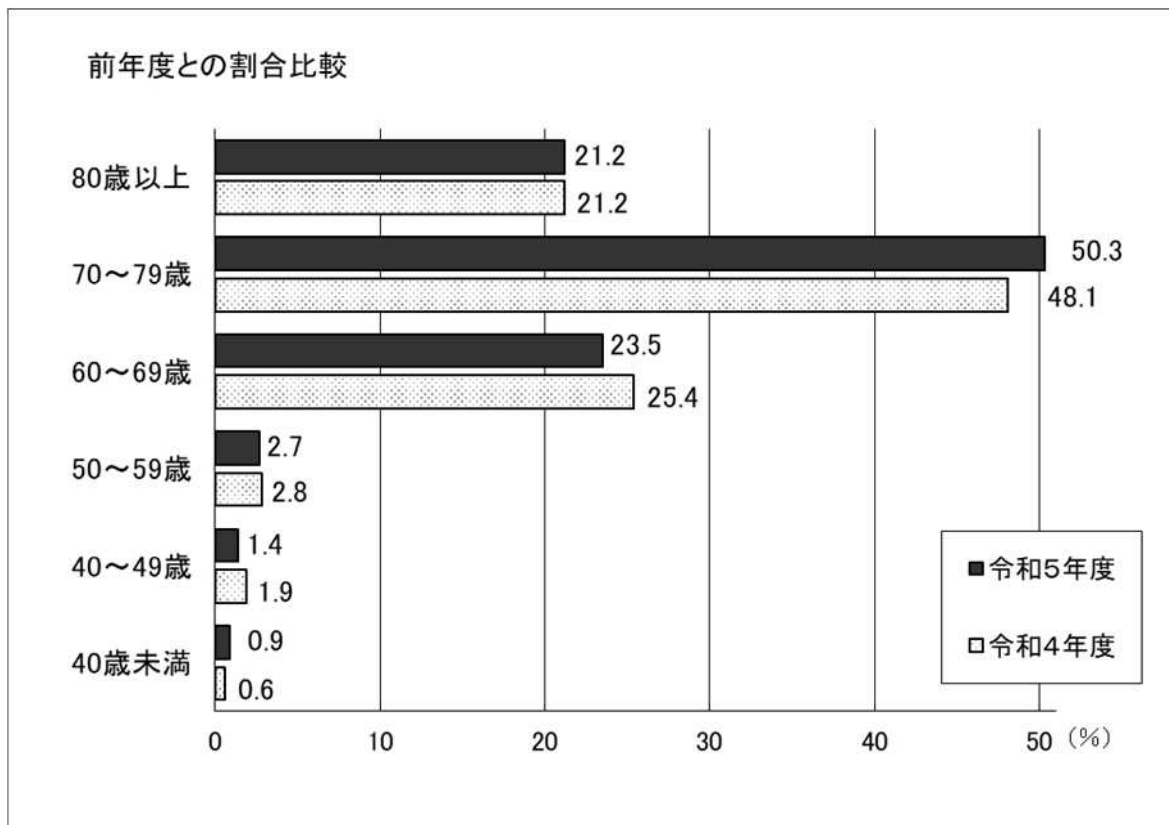
## 5 市民大学受講者の年齢構成

### (1) コース別一覧

コース名		年齢層					合計	
		80歳以上	70～79歳	60～69歳	50～59歳	40～49歳		40歳未満
一般	富山の環境の未来を学ぶ	0	7	6	0	0	0	13
	富山のまちのこれからを考える	1	6	5	0	0	0	12
	立山黒部ジオパークを知る	9	18	14	1	0	0	42
	郷土の歴史	22	36	15	0	0	0	73
	墳墓・古墳・お墓の考古学	11	26	12	0	1	0	50
	富山の民話	5	10	4	0	0	0	19
	日本の歴史	19	32	18	2	1	0	72
	世界の歴史	10	40	16	1	2	1	70
	中国史に学ぶ	12	27	7	0	0	0	46
	生活文化の歴史	2	6	4	0	0	0	12
	歴史史料をひもとく	6	9	8	0	0	0	23
	古典歌謡への旅	6	3	2	0	0	0	11
	おくのほそ道をよむ	3	12	5	0	0	0	20
	漢詩漢文の世界へ	5	13	10	0	0	0	28
	古文入門	9	28	13	2	0	0	52
	江戸時代の文学を読む	5	17	5	0	0	0	27
	くらしを彩る短歌の楽しみ	3	12	6	0	1	0	22
	俳句入門	2	17	10	0	0	0	29
	川柳を楽しむ	6	7	6	0	0	0	19
	文学へのいざない	10	12	3	0	0	0	25
	落語のはなし	34	73	43	2	0	1	153
	日本の歌、世界の歌	14	28	4	2	1	0	49
	音楽サロン	13	29	3	0	0	0	45
	世界の国々	18	34	17	2	0	1	72
	美術の世界	5	18	13	0	0	0	36
	生活医学薬学を学ぶ	11	21	7	1	1	1	42
	健康生活の知恵	17	32	11	0	0	0	60
	楽しい脳トレーニング	4	23	7	1	1	0	36
	豊かな心	27	53	18	2	0	1	101
	リズム体操	4	20	13	0	1	0	38
100歳まで歩こう	15	11	1	0	0	0	27	
暮らしの実学	11	21	10	1	0	0	43	
楽しい法律	18	27	9	5	1	0	60	
郷土の料理	0	11	6	1	0	1	19	
家庭でできる『やくぜん料理』	0	9	8	3	0	0	20	
季節の和菓子づくり	0	6	4	1	1	0	12	
スイーツでO・MO・TE・NA・SHI	0	7	3	1	1	0	12	
創作	洋画	4	11	5	2	0	3	25
	日本画	1	13	12	1	2	0	29
	版画	0	10	2	2	1	0	15
	切り絵	3	3	1	0	0	0	7
	篆刻	0	4	5	1	1	0	11
	陶芸A(前期)	0	5	2	0	0	2	9
	陶芸B(前期)	0	1	4	1	1	1	8
	陶芸A(後期)	0	4	2	1	2	0	9
陶芸B(後期)	1	0	2	2	3	2	10	
プラネット	富山の郷土玩具”土人形”を作ろう	1	4	3	2	0	0	10
	日本画(大沢野)	1	12	3	0	0	0	16
	うまい水のルーツを探る	4	4	2	1	0	0	11
	現代切り絵	0	2	1	0	0	0	3
	手作り銀粘土アクセサリー(前期)	0	5	3	2	1	0	11
	手作り銀粘土アクセサリー(後期)	0	2	3	2	1	1	9
飛越往来	6	6	0	0	0	0	12	
計		358	847	396	45	24	15	1,685

(2) 構成比

年齢構成	受講者全体		累 計	
	実 数	比率%	実 数	比率%
80歳以上	358	21.2	358	21.2
70～79歳	847	50.3	1,205	71.5
60～69歳	396	23.5	1,601	95.0
50～59歳	45	2.7	1,646	97.7
40～49歳	24	1.4	1,670	99.1
40歳未満	15	0.9	1,685	100.0
合 計	1,685	100.0		
平均年齢	72.9歳			



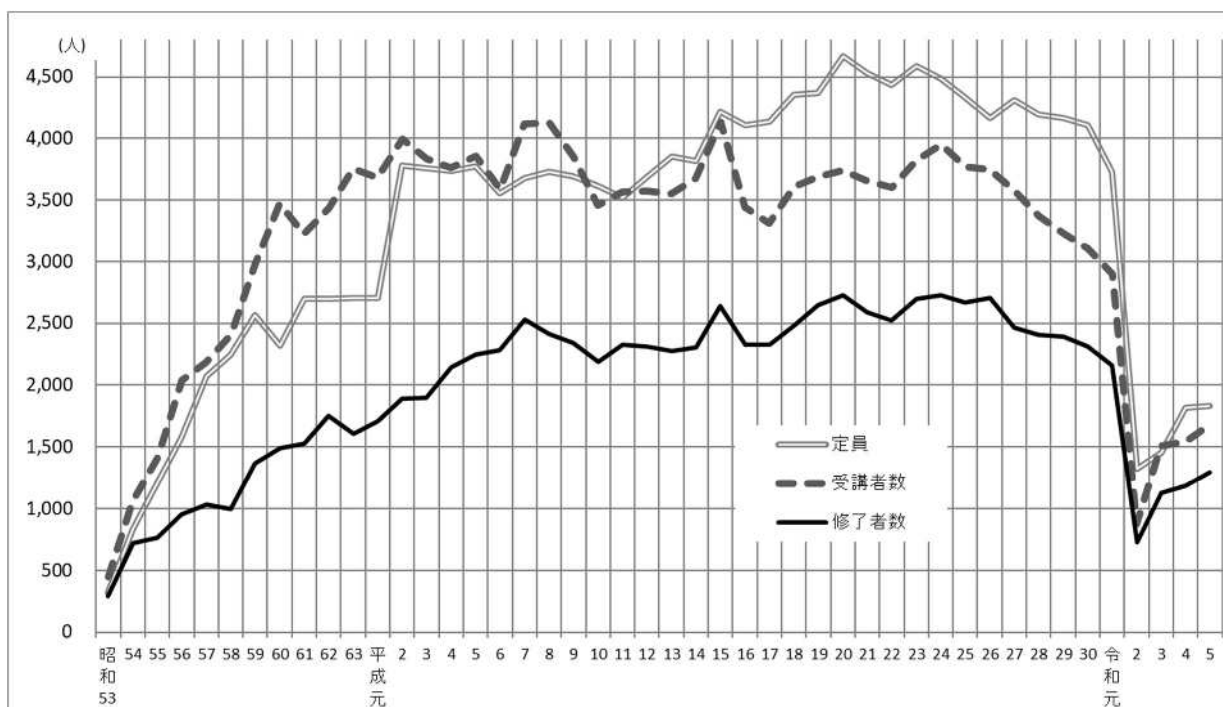
## 6 市民大学受講者数等の推移

### (1) 年度別一覧

年 度	昭和 53	59	60	61	平成 元	2	7	16	17	18	19	20	21	24	25
西 暦	1978	1984	1985	1986	1989	1990	1995	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2012	2013
コース数	8	38	37	48	45	56	52	57	57	63	70	79	80	79	78
定 員	320	2,570	2,320	2,695	2,705	3,780	3,676	4,111	4,139	4,354	4,367	4,667	4,532	4,482	4,330
受講者数	444	2,987	3,473	3,222	3,683	3,996	4,118	3,441	3,312	3,607	3,688	3,740	3,653	3,950	3,770
修了者数	291	1,369	1,493	1,525	1,711	1,894	2,532	2,326	2,326	2,480	2,648	2,723	2,589	2,727	2,670
備 考			新設 ガラス工芸コース	コース数増設	生涯学習都市宣言	市民プラザ完成		受講料有料化	新市誕生	サテライトを新設		プラネットに改称			陶芸コース新設 受講料改定

年 度	平成 26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	
西 暦	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
コース数	76	78	76	77	76	73	48	56	53	53	
定 員	4,163	4,313	4,197	4,165	4,107	3,727	1,323	1,451	1,818	1,829	
受講者数	3,750	3,583	3,368	3,229	3,109	2,896	878	1,507	1,545	1,685	
修了者数	2,704	2,463	2,407	2,394	2,312	2,158	725	1,126	1,187	1,296	
備 考						とよま市民交流館 でのコースを年度末で廃止 ガラス工芸コース を年度末で廃止	受講料改定	新型コロナウイルス 感染症防止のため コースと定員減	新型コロナウイルス 感染症防止のため 八月・九月休講再開		

### (2) 推移



## IV 令和5年度 富山市民大学に関するアンケート結果報告書

### 1 調査の趣旨

令和5年度の市民大学受講者の実態及び意識を把握し、今後の市民大学運営に資する。

### 2 実施スケジュール

- ・実施期間 9月～11月（7月までのコースでは、7月に実施）
- ・調査結果入力 10月～12月
- ・調査結果集計・考察 1月～2月

### 3 調査方法

- ・コースが7～8割ほど終了した時点でアンケート実施。
- ・講義前にアンケート用紙を配布して協力を依頼し、休憩時や退室時に回収。
- ・アンケート用紙は両面とし、表面に受講コースに関する設問を、裏面に市民大学全般に関する設問を記載。複数コースの受講者は、表面は受講しているコース毎に、裏面は1回のみ記入。
- ・昨年からの主な変更点として、大学祭・デジタル環境活用に関する設問を追加した。

### 4 回答者

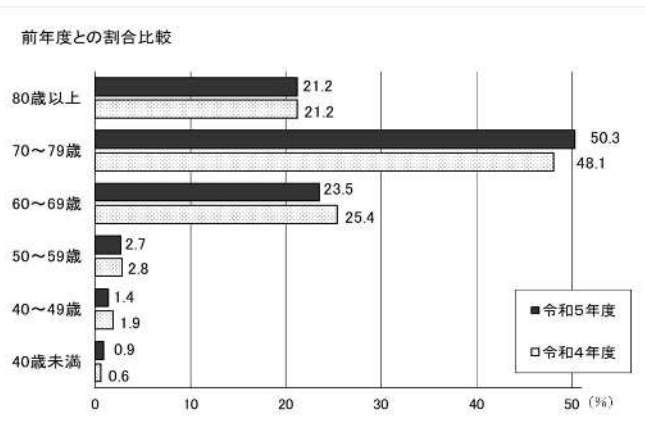
【表面】 1,109名/1,685名（延人数） 回答率 65.8% （昨年 66.1%）

【裏面】 914名/1,165名（実人数） 回答率 78.5% （昨年 74.7%）

### 5 令和5年度 富山市民大学受講者の属性

#### (1) 年代

- ・受講者のうち、60歳以上が95.0%（昨年94.7%）を占め、平均年齢は72.9歳（昨年72.6歳）である。
- ・特に80歳以上の割合が、昨年と同じく21.2%を占める。
- ・平均年齢は、5年前（2018年）70.7歳、10年前（2013年）68.7歳であり、徐々に高くなっている。



#### <考察>

「高年齢者雇用安定法」（2021年4月施行）により、65歳から70歳までの労働者の就業機会確保、70歳までの定年引上げ等の措置を講ずる努力義務が新設された。これにより、今後ますます市民大学の受講者の年齢層は上がり、高齢化すると予想される。

#### (2) 居住地

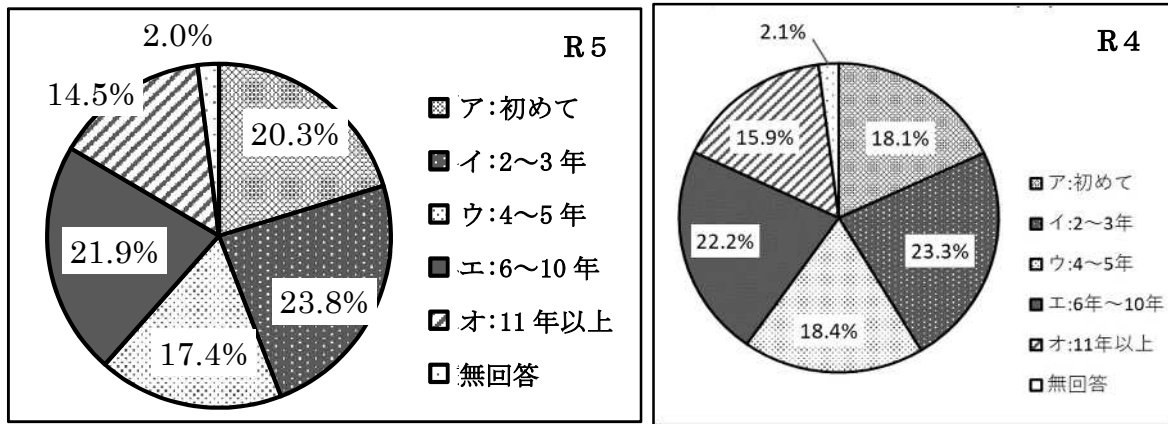
- ・受講者の87.9%が「旧富山市内」の居住で、次に多いのが「婦中地域」5.5%である。市外（勤務地が富山市内）の受講者が、7名で0.6%となっている。この割合は、例年とほぼ変わらない。

6 アンケート結果と考察 回答数(表面)1,109人

参考：( ) は昨年度の数値

(1) 受講経験等について【設問1～3】

「1. 市民大学の通算受講年数」について

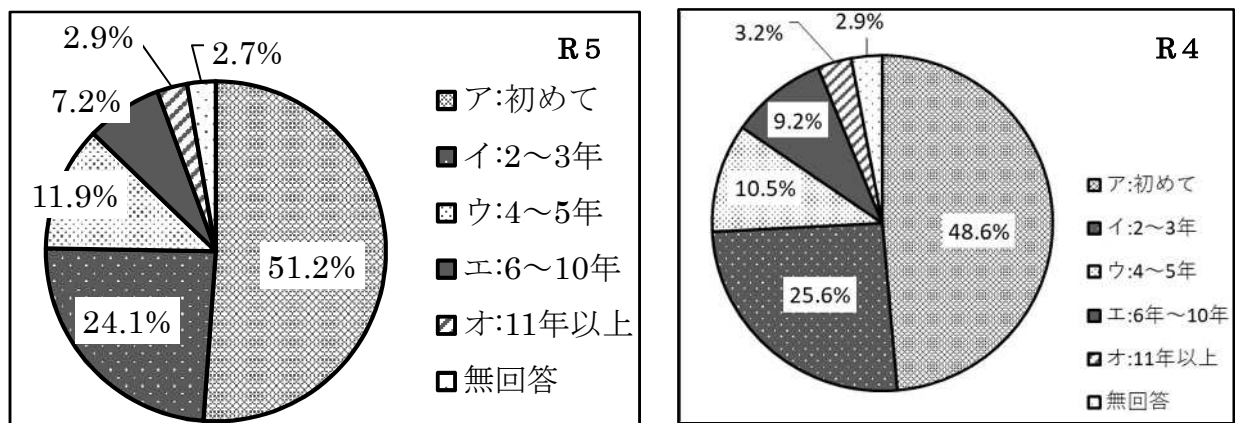


- ・昨年度と同様、受講者の約20%が新規受講者である。
- ・「初めて」・「2～3年」を合わせて44.1%(41.4%)を占めている。
- ・一方、6年以上の受講者が36.4%(38.1%)を占めており、中でも「11年以上の受講者」は14.5%(15.9%)を占める。このうち11年～15年が10名、16年～20年が8名、21年～25年が1名、26年以上は7名、最長で40年という受講者がいる。

<考察>

- ・3年以内の受講者が約45%いることから、一定程度の新規受講者が獲得できている。
- ・6年以上の受講者も約40%いることから、市民大学への満足度が高い。
- ・中でも11年以上の受講者が約15%もあり、市民大学が生活の一部となっている。

「2. コースの通算受講年数」について

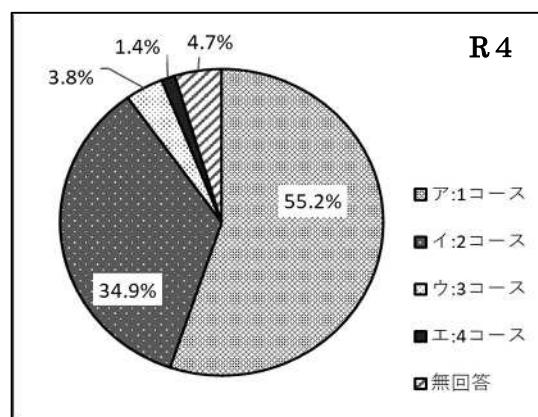
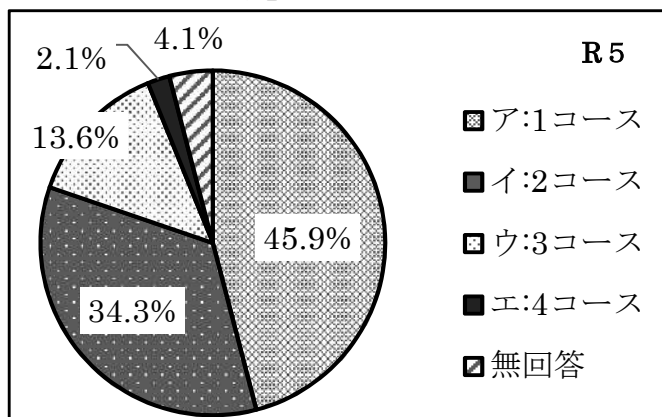


- ・このコースを初めて受講した人は、51.2%(48.6%)で、半数を占めている。
- ・「初めて」・「2～3年」を合わせて75.3%(74.2%)を占めている。
- ・同じコースを6年以上受講している割合は10.1%(12.4%)と減少した。

<考察>

市民大学自体の通算受講年数3年以内の受講者44.1%に対し、コースの通算受講年数3年以内は75.3%であり、30%以上の受講者が、コースを変えて市民大学を継続受講している。実際に市民大学を受講したことで、コース内容に満足されるとともに、さらに新しいことへの好奇心や学習意欲が高まった。

### 「3. 受講コース数」について



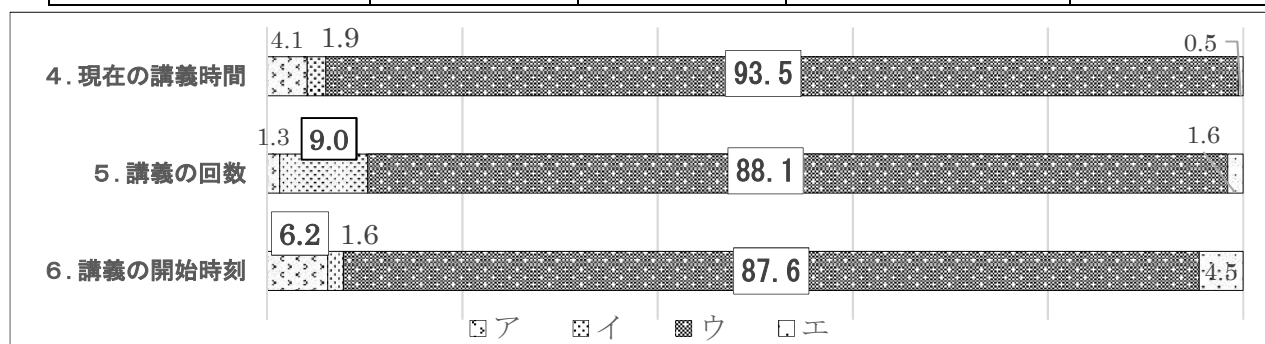
- ・ 2コースを受講している受講者が34.3%と、昨年(34.9%)と同等である。一方、3コース以上を受講している受講者が15.7%で、昨年(5.2%)より9.8%増加した。最高は4コースである。

#### <考察>

複数コースの受講を差し控えていた受講者が、積極的に受講されたものと推察する。

### (2) 受講コースの評価(時間・回数)について【設問4～6】

	ア:長い	イ:短い	ウ:ちょうどよい	無回答
4. 現在の講義時間	4.1%	1.9%	93.5%	0.5%
5. 講義の回数	1.3%	9.0%	88.1%	1.6%
6. 講義の開始時刻	6.2%	1.6%	87.6%	4.5%

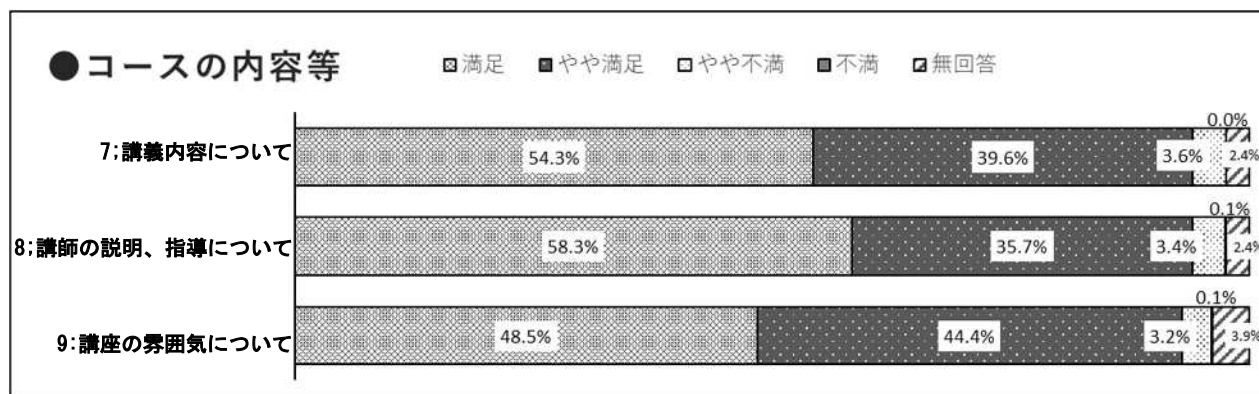


- ・ いずれの項目も、約90%の受講者が「ちょうどよい」と回答している。ただし「講義の回数」については「少ない」との意見が9.0%、「開始時刻」については「早い」との意見が6.2%ある。

#### <考察>

- ・ 「講義の回数が少ない」との意見が9.0%あることから、学ぶ意欲の高さがうかがえる。なお、講義時間・回数ともに概ね「ちょうどよい」との意見であったことから、来年度も現状維持としたい。
- ・ 開始時刻についても概ね「ちょうどよい」との意見であったことから、来年度も現状維持としたい。一方で、「早い」と感じている受講者が、昨年から引き続き一定数いることに留意し、今後もアンケート項目に入れて意見を探りたい。

(3) 受講コースの評価（内容等）について【設問7～9】



●自由記述（一部抜粋）

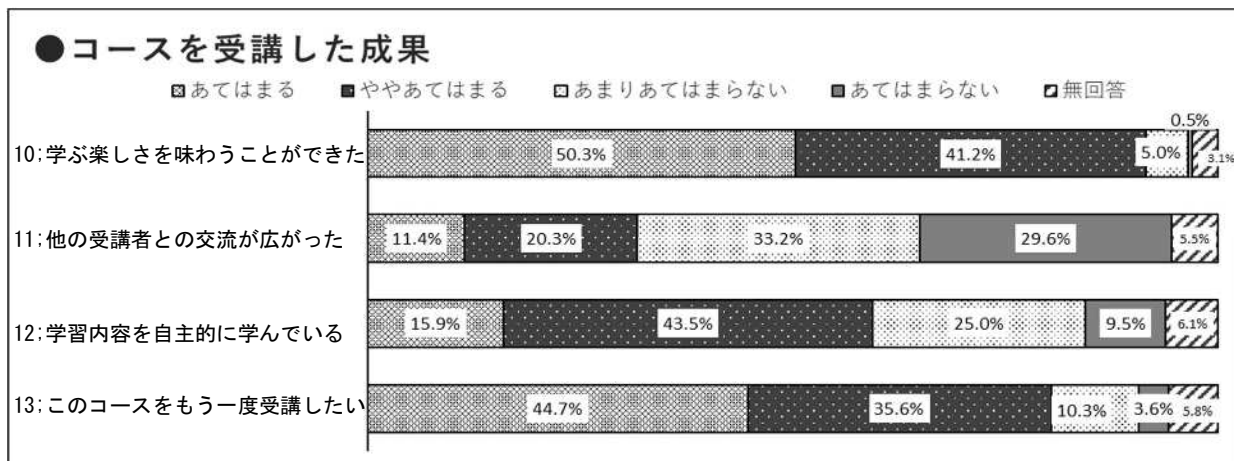
区分	内容
7. 講義内容について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回含蓄のある内容であり楽しませてもらった。</li> <li>・これまで点として知っていたことが、歴史的に線として結び付き、新しく視野が広がった。</li> <li>・講師の話は、分かり易い表現で楽しいが、高度なレベルで理解できない時がある。</li> <li>・学習テーマの基礎について、もう少し時間をかけてほしい。</li> <li>・学習テーマと、講義内容の関連性に疑問がある。</li> </ul>
8. 講師の説明・指導について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の情熱が伝わる講義だった。</li> <li>・講師の話が楽しい。</li> <li>・講師の説明が分かり易くてよい。</li> <li>・耳が遠くなったので早口、小声は聞きとりづらい。</li> <li>・説明の時間を短く、実習の時間にまわしてほしい。</li> <li>・各講義に資料がないこともあるので資料を最低1枚はお願いしたい。</li> <li>・時々でよいので、質問や意見交流の時間がほしい。</li> </ul>
9. 講座の雰囲気について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変雰囲気が良く毎回楽しく受講出来た。</li> <li>・携帯電話のマナー、おしゃべりマナーが悪い。</li> </ul>

- ・「満足」「やや満足」と回答した割合が、「7. 講義内容について」は93.9%、「8. 講師の説明、指導について」は94.0%、「9. 講座の雰囲気について」は92.9%といずれも肯定的である。
- ・自由記述では、数名の人が、受講者のマナー違反（私語等）を指摘している。

<考察>

- ・コース・講座によって差はあるが、概ね受講者のニーズにあった講義が展開されており、それが継続して市民大学を受講する人の数に表れている。
- ・自由記述から、「分かりやすい説明や資料」「質問時間の設定」への一定数の要望がある。さらに魅力ある講義となるように、講師の方々に受講者の要望を伝えていく。
- ・携帯電話や私語については、これまでも注意喚起を行っているところではあるが、受講者の学習意欲を妨げないよう、引き続き注意喚起していく。

(4) 受講した成果について【設問 10～13】



●自由記述（一部抜粋）

区分	内容
10. 学ぶ楽しさについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品が出来ていくのが楽しい。</li> <li>・自由に作らせてもらい、皆さんの作品を見てどんどん創作意欲が高まりこのくらい的人数がちょうど良い。</li> <li>・とても楽しく制作できて大満足である。</li> <li>・古典は、敷居が高いイメージであったが、講師のお話が分かり易く、有意義な講義だと満足している。</li> <li>・講師は日本人もいるが、外国人は日本語で楽しく解説されるのがおもしろかった。</li> </ul>
11. 他の受講者との交流について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを確定し、意見交換の機会を設けてほしい。</li> <li>・受講後に講師を交えた話し合いの場を作れば、交流が広がるのではないか。（雑談会）</li> <li>・席についたら最後まで、他の人と会話することはあまりない。</li> <li>・元々、受講のみが目的で、交流を望んでいない。</li> </ul>
12. 自主的な学習について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて受講して、知らない事を自分で調べるのが楽しかった。</li> <li>・講義がきっかけで漢字に興味をわき、漢字検定を受験し3級と準2級に合格した。</li> <li>・講義をきっかけに、図書館で落窪物語を借りた。</li> </ul>
13. 同コースの再受講について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段に不都合がない限り、継続して受講したい。</li> <li>・講義により、もう一度受講したいものもある。</li> <li>・全項目を受講できなかったもので、次年度があれば補講として受講したい。</li> </ul>

- ・「10. 学ぶことの楽しさを味わうことができた」は、91.5%が概ね肯定的な回答であり、例年並みである。
- ・「11. 他の受講者との交流が広がった」の否定的な回答は62.8%であり、例年並みである。特に座学中心のコースにおいて否定的な回答が多く、自由記述にも、受講者間の接点の無さを指摘する声が多い。
- ・「12. 学習内容を自主的に学んでいる」は、59.4%が肯定的な回答であり、昨年度より1.8%増となった。
- ・「13. このコースをもう一度受講したい」は、肯定的な回答が80.3%を占めており、昨年度より2.6%の増である。



<考察>

- ・91.5%の受講者が学ぶ楽しさを感じているほか、自主的な学習については、肯定的な回答が昨年より増加しており、生涯学習を推進する場として、その役割を一定程度果たしているものとする。
- ・他の受講者との交流については、62.8%の受講者が否定的な回答である。特に座学による講義は、受講者同士の関わりが少ないこと等から、今後もこの傾向は続くものとする。  
一方、「意見交換の機会を設けてほしい」等の意見もあり、受講者同士の関わりや、講師と受講者との双方向の関わりも検討する必要がある。
- ・コース再受講については、肯定的な回答が80.3%を占めた。ただし、コースにより割合は大きく異なる。同じコースの再受講が必ずしも良いわけではないが、コースの満足度を推し量る指標として、今後のコース・講義内容を検討する際に考慮していく。

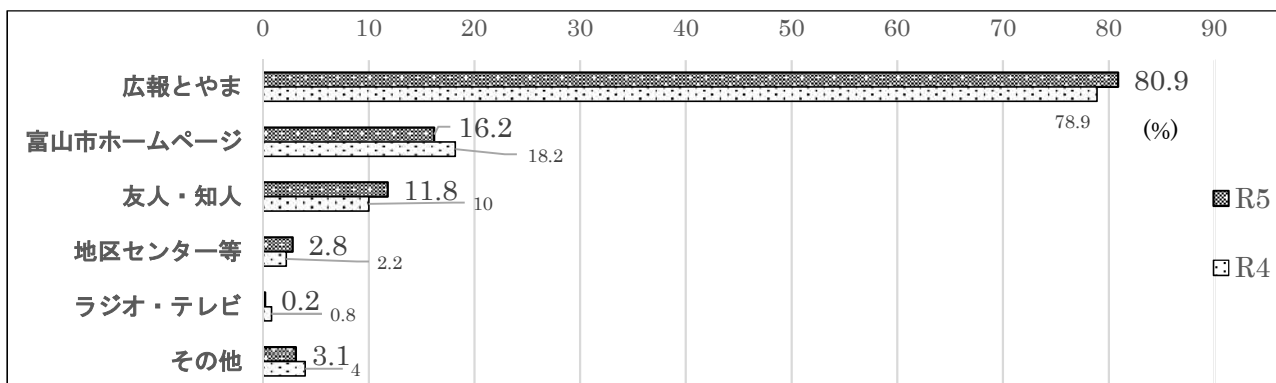
(5) コース全般について【設問 14：自由記述】（一部抜粋）

区 分		内 容
感想	全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人なかに出る機会を楽しんでいる。</li> <li>・一人暮らしなので、受講で気分がよくなる毎日である。</li> <li>・高齢になって学べるのがうれしい。生きがいの一つである。</li> <li>・自分の生き方の参考にしている。</li> <li>・大学教授から、直接専門的な話が聴ける貴重な場であった。</li> <li>・身近なテーマであり、実生活に大いに役立つ。</li> <li>・同じコースでも、受講するたびに新しい発見がある。</li> <li>・学ぶことの楽しさを知った。</li> <li>・久しぶりに学生時代に戻った感があり、良かった。</li> </ul>
	郷土	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞などにも記載されていれば、読むようになった。</li> <li>・郷土の歴史を学ぶことで愛着がより強くなった。</li> <li>・富山について知らなかったことがたくさんあって楽しい。</li> <li>・全く知らなかった富山の歴史の一端を知ることができ、あらためて日本の歴史に結び付けて楽しめる受講となった。</li> </ul>
	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養のバランスに気を付けることや健康に繋がるお話があり、分かり易い。</li> <li>・健康について色々な面から知識を得ることができ、大変勉強になった。</li> <li>・歩いたり体を動かしたりする大切さが良く分かりました。</li> <li>・頭を使って考えることが少なくなってきたので、よい刺激になった。</li> <li>・年と共に頭の回転が鈍ってきている。カツを入れる良いチャンス。</li> </ul>
	交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の受講者と親しく楽しく学ぶことができた。</li> <li>・受講者との交流が広がり、市民大学祭の発表の機会が励みになる。</li> <li>・皆さんの俳句を読ませていただくのが楽しみになりました。</li> </ul>
意 見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車料金が高い。</li> </ul>
要 望		<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問タイムを作ってほしい。</li> </ul>

(6) 市民大学全般について【設問 15～24】 回答数(裏面)914名

「15. 開設コース・学習内容等の情報取得手段」について

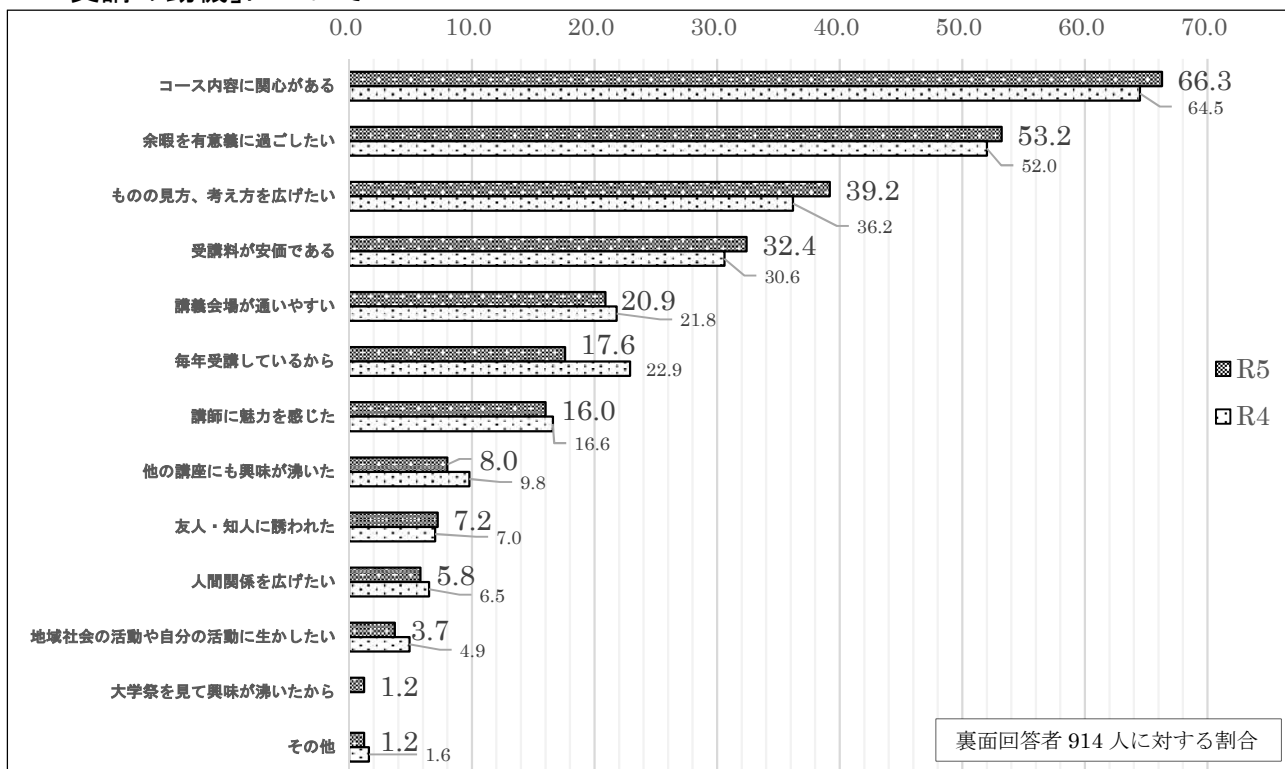
裏面回答者 914 人に対する割合



<考察等>

- ・市民大学の情報取得手段としては、例年どおり「広報とやま」が約80%を占め、最も多い。
- ・富山市ホームページを情報取得手段とする割合が、昨年より約2%減少した。
- ・引き続き、「広報とやま」での周知を継続するとともに、ホームページの充実に努めたい。

「16. 受講の動機」について



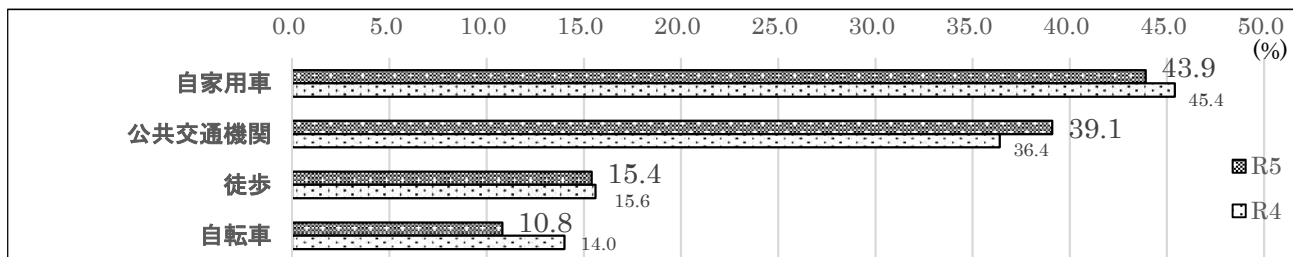
裏面回答者 914 人に対する割合

<考察等>

- ・「コース内容に関心がある」が最も多い。次いで、「余暇を有意義に過ごしたい」「もの考え方・考え方を広げたい」となっており、例年どおりの傾向である。
- ・次に「受講料が安価である」「講義会場が通いやすい」等、物理的な動機も例年どおり多い。
- ・「毎年受講しているから」が、17.6%を占め、市民大学が生活の一部になっていることが分かる。
- ・昨年度設けた項目「人間関係を広げたい」は5.8%にとどまり、市民大学において交流を求める受講者が、昨年同様に少ないことが分かる。
- ・新たに設けた項目「大学祭を見て興味が湧いたから」が1.2%にとどまり、大学祭の効果が少ないことが分かる。
- ・新たな知識の獲得等、余暇を有意義に過ごすことが主な目的で、交流が目的の受講者は少ない状況である。

### 「17. 講義会場へ来場する際の主な交通手段」について

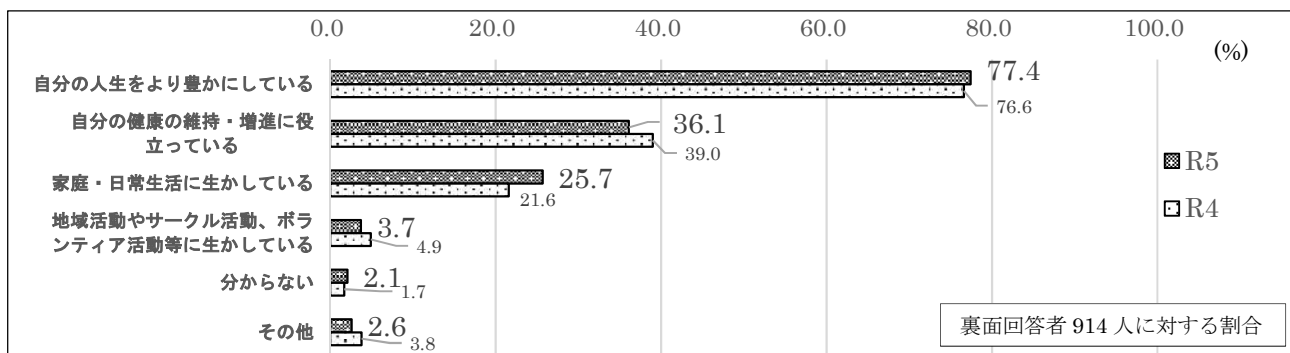
裏面回答者 914 人に対する割合



#### <考察等>

- ・自家用車が 43.9%、公共交通機関が 39.1% で、自家用車が最も多いとはいえ、公共交通機関の利用も多く、公共交通機関を利用した「まちなか」へのお出かけ促進を図る富山市の政策に資する事業の一つとなっていると考える。

### 「18. 市民大学で学んでよかったと思うこと」について

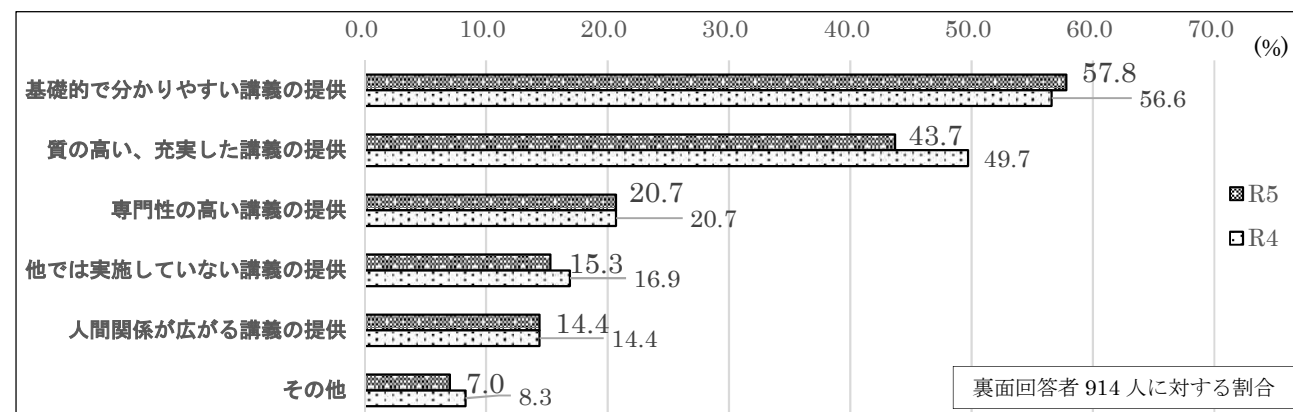


裏面回答者 914 人に対する割合

#### <考察等>

- ・77.4%の受講者が、「自分の人生をより豊かにしている」と回答している。
- ・次の「健康維持・増進に役立つ」は 36.1% を占め、「リズム体操」や「100歳まで歩こう」など実際に体を動かすコースに加え、「健康生活の知恵」「楽しい脳トレーニング」等、健康に関する様々な分野の講座があることが理由の一つと考える。
- ・また「14. 自由記述」に見られた、講義に参加するために「人なかに出る」「他の受講者と交流する」ことが、健康維持・増進に繋がっていることも推察する。

### 「19. 市民大学に今後期待すること」について



裏面回答者 914 人に対する割合

#### <考察等>

- ・「基礎的でわかりやすい講義の提供」が 57.8% を占め、最も要望が多い。
- ・「質の高い、充実した講義の提供」は 43.7% を占めており、例年どおり要望が多く、いずれの受講者にも共通する。
- ・一方で、「専門性の高い講義の提供」が 20.7% と一定数を占める。
- ・「質の高い、充実した講義の提供」に努めることを基本に、市民ニーズに合ったコース・講義の提供に努める。

## 「20～21. 富山市民大学祭」について

設 問	ア:はい	イ:いいえ	無回答
20 これまでに、大学祭へ来たことがあるか。	55.4%	42.0%	2.6%
21. 自分の学習成果を発表したいか。 (作品展示、ステージ発表等)	15.4%	74.9%	9.6%

### <考察等>

- ・今回、新たに設けた設問である。
- ・55.4%が「大学祭へ来たことがある」と回答している一方、42.0%が「来たことがない」と回答している。受講者が参加したくなるよう今まで以上に働き掛けるとともに、これまで以上に市民への広報活動に努める。
- ・「自分の学習成果を発表したいか」に対して、74.9%が否定的に回答している。講義への満足度は高いが、「発表」への意欲にはつながっていない。

## 「22～24. デジタル環境」について

設 問	ア 自分でできる	イ, 家族等に教えてもらえばできる	ウ, スマホ・パソコンは使えない	無回答
22.市民学習センターのホームページから市民大学の申込書をダウンロードできる	49.6%	25.2%	20.4%	4.9%
23.スマホやパソコンからイベント等の申込ができる。または、したことがある。	48.5%	26.9%	19.7%	4.8%
24.スマホを使ってキャッシュレス決済を利用できる。	38.9%	20.5%	34.8%	5.8%

### <考察等>

- ・昨年度、受講手続き等のデジタル化の可能性を探るために調査したところ、60%以上の受講者は、普段からデジタル機器を活用していることが判明した。その結果を踏まえて、今回はデジタル機器の活用の仕方に関して、新たに設けた設問である。
- ・「市民学習センターのホームページから市民大学の申込書をダウンロードできる」「スマホやパソコンからイベント等の申込ができる。または、したことがある」は、約50%が「自分でできる」と回答した。「家族等に教えてもらったらできる」を加えると約75%を占める。
- ・「スマホを使ってキャッシュレス決済を利用できる」に対して、38.9%が「自分でできる」と回答したが、34.8%が「スマホ・パソコンは使えない」と回答している。
- ・利便性向上のため、デジタル化について検討していく。

## 7 アンケート全般について（考察）

- ・限られた人員で多彩なコースを同時進行で行っており、コース増などは容易ではない現状だが定員の充足率を指標として、さらに市民ニーズに応じた多彩なコース開設や講師選定に努める
- ・また、継続受講や他のコースも受講してみたいと思う受講者は相当数おり、引き続き満足度を高める工夫をすることが求められる。
- ・市民大学を知らない方に周知を行い、新規の受講者獲得に努めることが重要である。そのために、市広報をはじめ、大学祭や特別講義、特別講演会の周知の仕方を今以上に工夫し、受講者数の増に努める。

## 令和5年度 富山市民大学に関するアンケート

受講コース名

※ 富山市民大学運営の参考にするため、以下のアンケートにご協力をお願いします。  
(該当する項目に○を付けてください。)

● 受講経験等について

1	市民大学の通算受講年数	ア	初めて	イ	2～3年	ウ	4～5年	エ	6～10年	オ	11年以上(年)
2	このコースの通算受講年数	ア	初めて	イ	2～3年	ウ	4～5年	エ	6～10年	オ	11年以上(年)
3	今年度の受講数	ア	1コース	イ	2コース	ウ	3コース	エ	4コース以上(		コース)

● このコースの時間・回数等について

4	現在の講義時間(休憩を含み120分など)	ア	長い	イ	短い	ウ	ちょうどよい
5	講義の回数(10回・15回など)	ア	多い	イ	少ない	ウ	ちょうどよい
6	講義の開始時刻	ア	早い	イ	遅い	ウ	ちょうどよい

● このコースの内容等

質問項目	評価欄				
	満足	やや満足	やや不満	不満	
7	講義内容について	4	3	2	1
8	講師の説明、指導について	4	3	2	1
9	講座の雰囲気について	4	3	2	1
自由記述	※ 質問7～9についてご意見がありましたら、ご記入ください。				

● このコースを受講した成果

質問項目	評価欄				
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
10	学ぶ楽しさを味わうことができた	4	3	2	1
11	他の受講者との交流が広がった	4	3	2	1
12	学習内容を自主的に学んでいる	4	3	2	1
13	このコースをもう一度受講したい	4	3	2	1
自由記述	※ 質問10～13についてご意見がありましたら、ご記入ください。				

● このコースを受講しての感想をお書きください。(自由記述)

14	
----	--

裏面に続く

ここからは、一人1回の回答となります。  
他のコースで記入された方は、回答されなくて結構です。

- 今年度の開設コース及び学習内容を知った方法（該当するものすべてに○を付けてください。）

15	ア 広報とやま	イ 富山市ホームページ	ウ ラジオ・テレビ
	エ 地区センター等	オ 友人・知人	カ その他( )

- 受講の動機（該当するものすべてに○を付けてください。）

16	ア ものの見方、考え方を広げたい	イ コースの内容に関心がある	ウ 講師に魅力を感じた
	エ 余暇を有意義に過ごしたい	オ 学習したことを地域社会の活動や自分の活動に生かしたい	
	カ 友人・知人に誘われた	キ 人間関係を広げたい	ク 受講料が安価である
	ケ 講義会場まで通いやすい	コ 他の講座にも興味が沸いた	サ 毎年受講しているから
	シ 大学祭を見て興味が沸いた	ス その他( )	

- 講座会場へ来場する際の主な交通手段（該当するもの○を付けてください。）

17	ア 徒歩	イ 自転車	ウ 自家用車
	エ 公共交通機関	オ その他( )	

- 市民大学で学んでよかったと思うこと（該当するものすべてに○を付けてください。）

18	ア 自分の人生をより豊かにしている	
	イ 家庭・日常生活に生かしている	
	ウ 自分の健康の維持・増進に役立っている	
	エ 地域活動やサークル活動、ボランティア活動等に生かしている	
	オ 分からない	
	カ その他( )	

- 市民大学に今後期待すること（該当するものすべてに○を付けてください。）

19	ア 質の高い、充実した講座の提供	カ その他（具体的に書いてください。）
	イ 専門性の高い講座の提供	
	ウ 基礎的で分かりやすい講座の提供	
	エ 人間関係が広がる講座の提供	
	オ 他では実施していない講座の提供	

- 富山市民大学祭について（該当するものに○を付けてください。）

20	これまでに、大学祭をご覧になったことがありますか。	ア はい	イ いいえ
21	市民大学で、ご自身の学習成果を発表したいと思いますか。(作品展示やステージ発表等)	ア はい	イ いいえ


- デジタル環境について（該当するものに○を付けてください。）

22	市民学習センターのホームページから市民大学の申込書をダウンロードできますか。	ア 自分でできる	イ 家族等に教えてもらえばできる	ウ スマホ・パソコンは使えない
23	スマホやパソコンからイベント等の申込ができますか。または、したことがありますか。	ア 自分でできる	イ 家族等に教えてもらえばできる	ウ スマホ・パソコンは使えない
24	スマホを使ってキャッシュレス決済を利用することができますか。	ア 自分でできる	イ 家族等に教えてもらえばできる	ウ できない (スマホを持っていない)

※ ご協力ありがとうございました。

## V 令和6年度 事業計画案

### 1 スケジュール

月/日	事 項
令和6年 3月4日(月)～6日(水)	富山市民大学 受講申込み受付 (インターネット・郵送受付 2/15～3/6)   ←令和6年度募集からインターネットでの受付を開始し、ホームページに申込専用フォームを掲載
4月4日(木)～6日(土)	富山市民大学 受講手続き及び追加募集
4月17日(水)	富山市民大学開講式・特別講演会
8月	わくわくキッズ教室(夏休み)
11月28日(木)～30(土)	第44回富山市民大学祭
12月	わくわくキッズ教室(冬休み)
令和7年 1月～2月	特別講義(全5回)
2月	令和6年度富山市民大学閉講式・特別講演会  令和6年度富山市市民学習センター運営協議会
3月	令和7年度富山市民大学 受講申込み受付  富山市民大学「学報2024」発刊

## 2 令和6年度 富山市民大学の概要

- (1) コース数 53 コース {R5 53 コース}  
 (2) 定員 1,894 人 {R5 1,829 人}  
 (3) 受講料 変更なし  
 講義 10 回まで 3,000 円  
 講義 11 回以上 4,000 円

(4) コースの見直し

【新規開設】	2 コース	} 詳細は次のとおり
【廃止】	3 コース	
【再開】	1 コース	
【変更】	17 コース	

区分	コース名	変更内容
①新規開設	朗読を楽しもう (定員 20 人)	
	リコーダー演奏を楽しもう (定員 20 人)	
②廃止	富山の民話	
	楽しい脳トレーニング	
	現代切り絵	
③再開・ コース名変更	合唱	女声合唱
④コース名変更	富山の環境の未来を学ぶ	富山の環境—過去・現在・未来—
	富山のまちのこれからを考える	富山のまち—持続可能なまちづくり—
	墳墓・古墳・お墓の考古学	地域の歴史遺産を巡る考古学
	生活文化の歴史	食と住の文化史
	生活医学薬学を学ぶ	くらしの中の和漢医薬学
⑤日程の変更	漢詩漢文の世界へ	水曜 9:30~ → 金曜 13:30~
	文学へのいざない	金曜 13:30~ → 水曜 9:30~
	豊かな心	9:30~ → 9:45~
	富山の郷土玩具“土人形”を作ろう	13:00~ → 13:30~
	日本画 (大沢野)	土曜 → 木曜
⑥回数変更	郷土の料理	10 回 → 8 回
	季節の和菓子づくり	10 回 → 8 回
	スイーツで O・MO・TE・NA・SHI	10 回 → 8 回
	切り絵	15 回 → 12 回
⑦会場・日程・定員 変更	うまい水のルーツを探る	大庄公民館ほか → 大山会館ほか
		9:30~ → 10:00~
		定員 20 名 → 15 名
⑧定員・ 単独講師変更	陶芸	10 名 → 12 名
⑨単独講師変更	おくのほそ道をよむ	

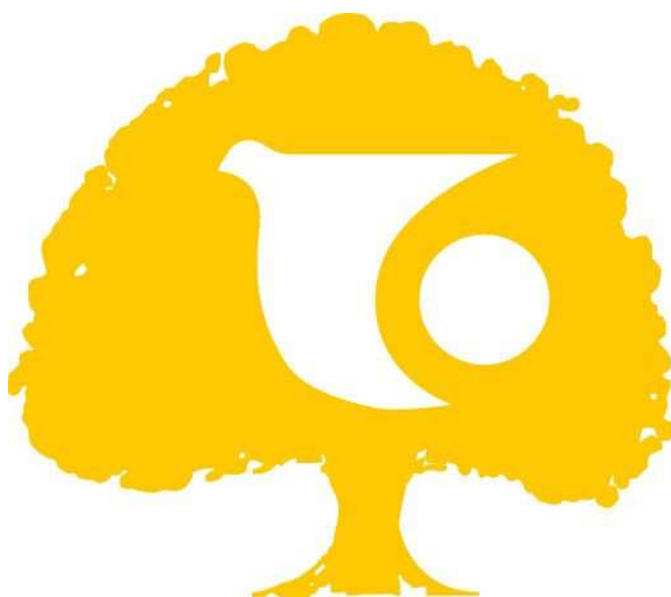


要項・学習日程

2024

# 富山市民大学

*Foyama Citizens College*



富山市教育委員会  
市民学習センター



# 2024 富山市民大学要項

## 目次

1	令和6年度 富山市民大学概要.....	1
2	受講について.....	2
3	関連行事「第44回富山市民大学祭」.....	2
4	関連事業.....	2
5	富山市民大学コース一覧.....	4
6	学習日程表	
	(1) 一般.....	7
	(2) 創作.....	26
	(3) プラネット.....	30

富山市民大学の歌	
志田延義 作詞	
渡辺一郎 作曲	
一、学習仲間の輪を拓げては	
学び続ける わたくしたちの	
意欲よろこび 山涛見上げる	
富山市民大学 市民大学	
二、今日から明日へ 若きも老いも	
聴いては調べ 表し創る	
開く心は 海空と青い	
富山市民大学 市民大学	
三、男性女性も 助け合っては	
花に紅葉に 雪にも競う	
学習の場の 集い謳おう	
富山市民大学 市民大学	
(昭和62年制定)	

表紙のカットは、富山市民大学のシンボルマークです。《樗（けやき）》に、平和の象徴の《はと》と恵みのもと《太陽》で、Toyama（とやま）のToをかたどったものです。

図案 小西安治氏（富山市）

# 1 令和6年度 富山市民大学概要

- (1) 趣 旨 富山市民大学は、「市民の皆さまの生涯学習」を支援するために、年度を通して系統的な内容による継続的な学習機会を提供します。  
郷土の魅力を再発見する「富山を学ぶ」内容をはじめとして、実生活を豊かにするものから、国際的な視点を養うものまで、幅広い分野に及ぶコースをご用意しています。  
併せて、受講者同士のふれあいを大切にし、心豊かな暮らしの一助となることを目指します。
- (2) 対 象 者 市内に居住または勤務されている方
- (3) 期 間 令和6年4月～11月
- (4) 開設コース ① 一 般 38 コース  
② 創 作 9 コース  
③ プラネット 6 コース
- (5) 日時及び会場 コースごとに異なります。  
「学習日程表」(P7～)をご確認いただき、お間違いのないよう、ご注意ください。
- (6) 受 講 料 10回以下のコース・・・1コース 年間3,000円  
11回以上のコース・・・1コース 年間4,000円  
※いったん納入された受講料は返還できません。
- (7) 実 費 負 担 ○資料代、教材費、現地学習の経費等は自己負担となります。  
※事前準備を行うため、当日及び直前に受講をキャンセルされた場合は、実費相当分を負担していただく場合があります。  
○資料は一人1部です。当日欠席された方で資料をご希望の場合は、次回の受講日にお申し出ください。
- (8) 開講式・閉講式 【開 講 式】令和6年4月17日(水) 午後1時30分から  
富山市民プラザ 4階アンサンブルホール  
【閉 講 式】令和7年2月中旬(予定)  
※各式の後、併せて特別講演会を実施します。
- (9) 問い合わせ先  
○一般・創作については  
富山市民学習センター  
〒930-0084 富山市大手町6番14号(市民プラザ内)  
☎ 493-3500 FAX 491-4685  
○プラネットについては  
教育行政センター ☎ 467-5822  
○ホームページは、富山市民ホームページ(ページID「1010580」)をご覧ください。

## 2 受講について

### (1) 講義日時や会場の確認について

「学習日程表」(P7~)に、コースの日程、学習題、会場等を掲載しています。受講されるコースの講義日と会場を、必ず確認してご参加ください。

(講義日によって会場が変わるコースもありますので、ご注意ください。)

### (2) 受講時のお願い

- ・コースごとに発行される受講証(名札兼)を、着用又は提示してください。(コース初回に配付して、最終回に回収します。)
- ・受講証は、紛失しないようご注意ください。また、受講証を複製したり、知人等に貸したりしないようお願いいたします。
- ・毎回、出席簿に○をつけてください。
- ・講義中の写真撮影や録音等、及び配付資料の受講目的以外での活用は、ご遠慮ください。

### (3) 学習内容等の変更について

- ・諸々の理由により、講師・日程・会場・学習題等を変更する場合がありますので、ご了承ください。
- ・変更の場合はホームページの掲載及びハガキ等により事前にお知らせします。

### (4) その他

- ・受講申込時の連絡先に変更があった場合は、必ずご連絡ください。
- ・富山市民プラザには無料の駐車場はありません。

## 3 関連行事「第44回富山市民大学祭」

市民大学の一年間の学習成果を発表し、受講者相互の交流を深めていただくとともに、広く市民が参加できる機会として開催します。

(詳しくは、広報とやま・市ホームページ等でお知らせします。)

- 日 時 令和6年11月28日(木)～11月30日(土)
- 会 場 富山市民プラザ2階 ギャラリーほか
- 内 容 作品展示、公開講座、体験レッスンなど

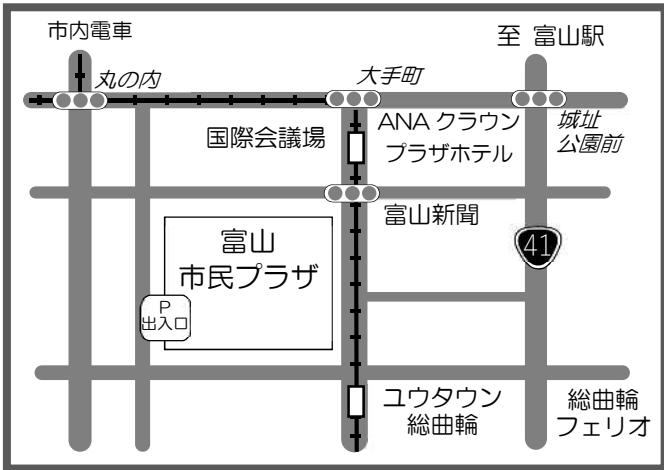
## 4 関連事業

大人から子どもまで、幅広い生涯学習の啓発を図るため、富山市民大学コースのほかにも、「わくわくキッズ教室」や「特別講演会」、「特別講義」等、多彩な講座・教室を開催します。(詳しくは、広報とやま・市ホームページ等でお知らせします。)

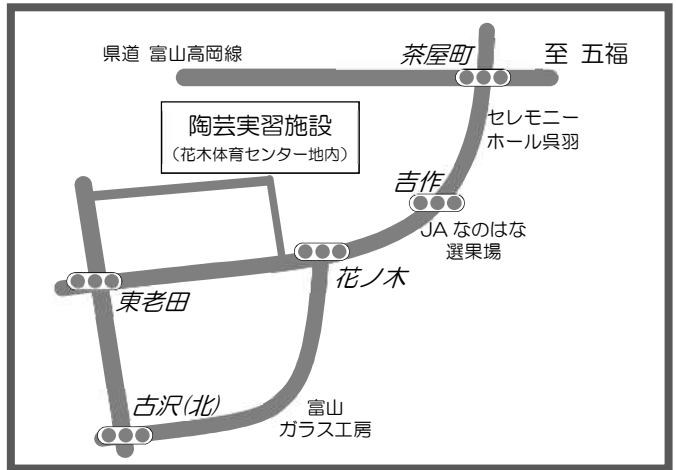
また富山市民大学事業実績を「学報」、特別講演会講演内容を「叢書」にまとめ、生涯学習資料として保存し、希望者に有料で頒布しています。

# \*各講義会場の地図\*

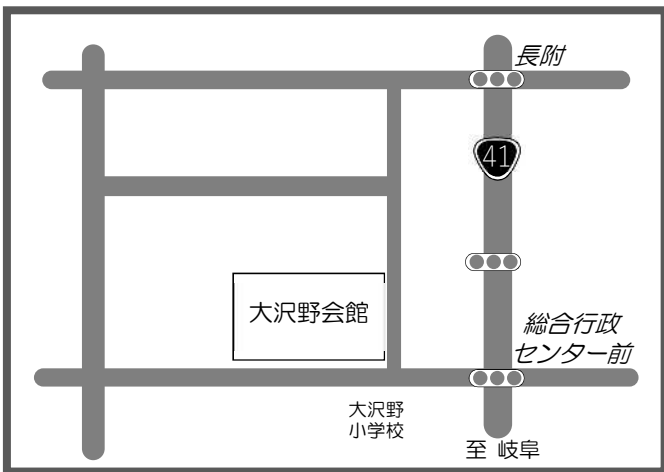
○市民学習センター 富山市大手町 6-14 (富山市民プラザ内)



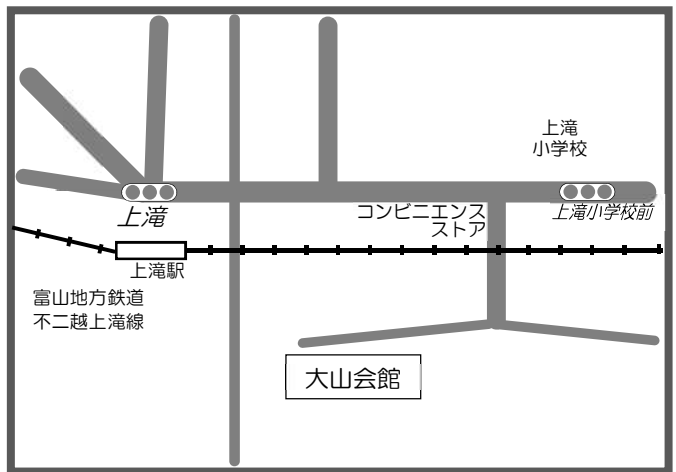
○市民大学陶芸実習施設 富山市花木 28 (花木体育センター地内)



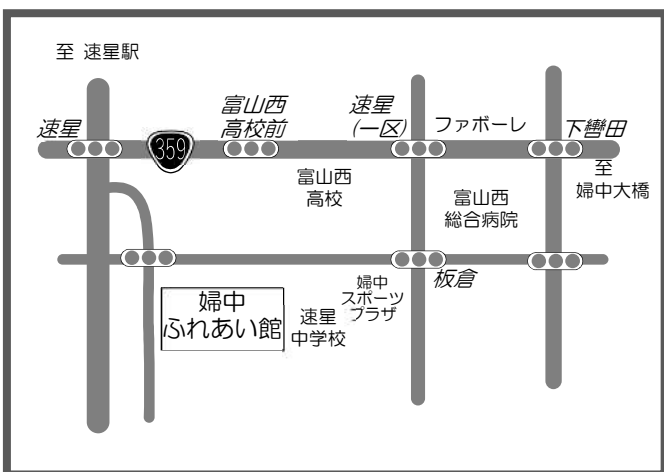
○大沢野会館 富山市高内 365



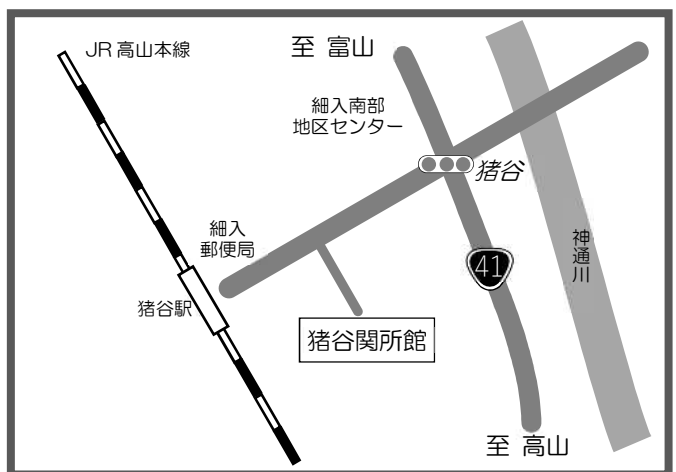
○大山会館 富山市上滝 567



○婦中ふれあい館 富山市婦中町砂子田 1-1



○猪谷関所館 富山市猪谷 978-4



## 5 富山市民大学コース一覧

日時・会場・学習題など、詳しくは各コースの「学習日程表」頁でご確認ください。

### (1) 一般

【会場】市民学習センター（市民プラザ） 講義室ほか

No	コース名	分野	曜日・開始時刻	回数	定員	学習内容	頁
101	富山の環境 -過去・現在・未来-	郷土	(木) 9:30	10	25	未来を見据え、富山の環境について市の施策等を学びます。	7
102	富山のまち -持続可能なまちづくり-	郷土	(金)13:30	10	25	富山のまちの過去や現在の姿、市の施策等を学びます。まちなか見学も行います。	7
103	立山黒部ジオパークを知る	郷土	(水) 9:30	10	60	富山の地形・地質が生み出す自然環境や歴史を通し、ジオパークとは何かを学びます。	8
104	郷土の歴史	郷土	(木)13:30	10	60	古代から近代まで、富山にまつわる歴史を学びます。	8
105	地域の歴史遺産を巡る考古学	郷土	(金) 9:30	10	60	旧石器～江戸時代の指定史跡等から地域の歴史を学びます。	9
106	日本の歴史	歴史	(水)13:30	10	60	縄文時代から近代まで、さまざまな視点で日本の歴史を学びます。	9
107	世界の歴史	歴史	(月)13:30	10	60	古代から20世紀まで、さまざまな視点で世界の歴史を学びます。	10
108	中国史に学ぶ	歴史	(木)13:30	10	60	司馬遷の目を通して、古代中国の国家と経済の関係を学びます。	10
109	食と住の文化史	歴史	(木)13:30	10	25	人間の基本的な営みである食・住の視点から、生活文化の歴史を学びます。	11
110	歴史史料をひもとく	歴史	(月)13:30	10	25	古代から近代まで、さまざまな歴史史料から、当時の人々の営みを体感します。	11
111	古典歌謡への旅	文学	(火)13:30	10	25	古典歌謡「梁塵秘抄」「閑吟集」などを読み、味わいます。	12
112	おくのほそ道をよむ	文学	(水) 9:30	10	25	「おくのほそ道」を、北陸路をメインに講読します。	12
113	漢詩漢文の世界へ	文学	(金)13:30	10	25	漢詩や故事、論語を通じて、漢文に親しみます。	13
114	古文入門	文学	(火) 9:30	10	60	高校の教科書でも読まれている古文に触れ、古典に親しむ豊かな時間を共有します。	13
115	江戸時代の文学を読む	文学	(水)13:30	10	25	江戸時代の文学「好色一代女」を味わいます。	14
116	くらしを彩る短歌の楽しみ	文学	(金) 9:30	10	25	日々のくらしの中で短歌を楽しみ、創作し、仲間と共感する楽しみを味わいます。	14
117	俳句入門	文学	(水)13:30	10	20	現代俳句の基礎を学び、句会の楽しさを味わいます。	15
118	川柳を楽しむ	文学	(月)13:30	10	20	川柳づくりの基礎を学び、句会の楽しさを味わいます。	15
119	文学へのいざない	文学	(水) 9:30	10	25	短編小説の感想を語り、文学を深く味わいます。	16
120	朗読を楽しもう	文学	(木) 9:30	10	20	【新規コース】声に出して読んだり、講師の朗読を聴いたりして、言葉や文章の美しさを味わいます。	16
121	落語のはなし	文化	(金) 9:30	10	140	古典文化「落語」に表現された豊かなものの見方や考え方にふれ、味わいます。	17
122	日本の歌、世界の歌	文化	(木) 9:30	10	50	美しい生演奏や歌唱を交えて、さまざまな名歌に親しみ、音楽の美しさを味わいます。	17
123	音楽サロン	文化	(火)13:30	10	60	18～20世紀の欧米音楽(歌、器楽、管弦楽演奏)を鑑賞します。	18

No	コース名	分野	曜日・開始時刻	回数	定員	学習内容	頁
124	女声合唱	文化	(水) 9:30	15	80	楽しく編曲された童謡シリーズを皆でまた歌えることに感謝し、心がかよう合唱をめざします。	18
125	リコーダー演奏を楽しもう	文化	(月) 9:30	10	20	【新規コース】音楽の時間に親しんだソプラノリコーダーで、楽しく気軽に演奏を楽しみます。	19
126	世界の国々	文化	(金) 13:30	10	60	世界の国々の国内事情や文化などを、国際交流員や現地で生活された方々から学びます。	19
127	美術の世界	文化	(火) 13:30	10	30	さまざまな美術作品を鑑賞しながら、その文化や歴史を学びます。(現地学習7回予定)	20
128	くらしの中の和漢医薬学	健康	(金) 9:30	10	60	健康な生活をおくるため、漢方薬や和漢薬、身近な病気に関するさまざまな医学・薬学について学びます。	20
129	健康生活の知恵	健康	(金) 13:30	10	60	食や生活習慣等、さまざまな視点から、健康に暮らすための知恵を学びます。	21
130	豊かな心	健康	(木) 9:45	10	130	「いのち」と「生きる」ことについて考え、癒される時間を過ごします。	21
131	リズム体操	健康	(火) 13:30	15	30	ストレッチで身体をほぐし、音楽に合わせて楽しく体操し、心も身体も元気にします。	22
132	100歳まで歩こう	健康	(水) 13:30	10	30	前半5回のストレッチで身体を整え、後半5回でノルディック・ウォークを行います。	22
133	暮らしの実学	生活	(水) 13:30	10	60	実生活に役立つさまざまな事柄を、各界の専門家から学びます。	23
134	楽しい法律	生活	(土) 13:30	10	60	家庭や社会生活、財産にかかわる身近な法律を楽しく学びます。	23
135	郷土の料理	生活	(火) 9:30	8	18	富山に伝わる郷土料理を学び、作ります。	24
136	家庭でできる『やくぜん料理』	生活	(火) 9:30	8	18	富山の「やくぜん料理」を学び、作ります。	24
137	季節の和菓子づくり	生活	(木) 10:00	8	12	季節に応じた和菓子を学び、作ります。	25
138	スイーツでO・MO・TE・NA・SHI	生活	(木) 10:00	8	12	おもてなしにぴったりのスイーツを学び、作ります。	25
計				382	1,660		



## (2) 創作

【会場】市民学習センター（市民プラザ）、陶芸実習施設（花木）

No	コース名		曜日・開始時刻	回数	定員	学習内容	会場	頁	
201	洋	画	(土)10:00	15	20	静物画、人物画、風景画などを学び、作品を制作します。	市民学習センター アトリエ	26	
202	日	本	画 (金)13:30	15	20	デッサンや絵具の使い方を初歩から学び、作品を制作します。		26	
203	版	画	(金)9:30	15	20	彫刻刀の扱い・彫り・本摺りまでの工程を順に学び、作品を制作します。		27	
204	切	り	絵 (月)13:30	12	20	手法や技法などを順に学び、人形・コピー小品・パステルを使って作品を制作します。		27	
205	篆	刻	(木)14:00	10	20	落款などの基本を学び、中国の篆書文字を石印材に刻んで印を制作します。		28	
206	陶芸	前期 (5~7月)	A	(金)13:30	10	12	粘土成型や釉薬がけなどの基本を学び、作品を制作します。 ※後期の募集は、 「広報とやま(7月20日号予定)」に 掲載します。	陶芸実習施設 (花木体育センター 地内)	28
207			B	(火)13:30	10	12			
208		後期 (8~11月)	A	(金)13:30	10	12			29
209			B	(火)13:30	10	12			
計				107	148				

## (3) プラネット

No	コース名		分野	曜日・開始時刻	回数	定員	学習内容	会場	頁
301	富山の郷土玩具 “土人形”を作ろう		創作	(火)13:30	10	16	原型で粘土の人形を作り、窯焼き・彩色して作品を作ります。	大沢野会館	30
302	日本画(大沢野)		創作	(木)10:00	15	16	デッサンや絵具の使い方を初歩から学び、作品を制作します。		30
303	うまい水のルーツを探る		郷土	(木)10:00	10	15	小水力発電所などの現地学習を交え、水について学びます。	大山会館ほか	31
304	手作り銀粘土 アクセサリ	前期	創作	(火)13:30	5	12	銀粘土でアクセサリ(ペンダントトップと指輪)を制作します。 ※後期の募集は、 「広報とやま(8月5日号予定)」 に掲載します。	婦中ふれあい館	31
305		後期	創作	(火)13:30	5	12			
306	飛越往来		郷土	(水)10:00	10	15	細入地域を中心に、越中と飛騨の歴史を学びます。	猪谷関所館	32
計					55	86			

合計	53 コース	544 回	1,894 名
----	--------	-------	---------

## 6 学習日程表

### (1) 一般

#### 101 富山の環境—過去・現在・未来—

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2

[時間] 9:30~11:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・23	木	海洋プラスチックごみ対策でつなぐ未来	市環境政策課 副主幹 小林 慶一
2	6・6	木	変化する気候の中での日本海・富山湾の海洋環境	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 田口 文明
3	6・20	木	ゼロカーボンシティ政策でつなぐ未来	市環境政策課 係長 前澤 直人
4	7・4	木	化石から探る地球環境の変遷 —過去・現在・未来—	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 佐野 晋一
5	7・18	木	ふるさと富山の植物を守ろう	富山県中央植物園 園長 中田 政司
6	9・5	木	富山の動物 変化する分布と生態	富山県立山カルデラ砂防博物館 主任学芸員 白石 俊明
7	9・19	木	常願寺川の治水と砂防	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸員 是松 慧美
8	10・3	木	富山の気候と地球温暖化	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 安永 数明
9	10・24	木	イタイイタイ病から学ぶ土の大切さ	富山大学学術研究部理学系 准教授 蒲池 浩之
10	11・14	木	富山の雪氷環境	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 杉浦幸之助

#### 102 富山のまち—持続可能なまちづくり—

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2ほか

[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・17	金	コンパクトシティ政策のこれから ～官民共創による中心市街地の賑わいと歩きたくなるまちづくり～	市まちづくり推進課 課長代理 佐伯 哲弥
2	5・31	金	都市の本来的価値と富山市のまちづくり	早稲田大学 名誉教授 宮口 侗 迪
3	6・14	金	地図から考える富山のまちの昔と今	富山大学学術研究部教育学系 教授 山根 拓
4	7・12	金	富山の交通 —並行在来線を中心に—	富山高等専門学校国際ビジネス学科 教授 岡本 勝規
5	7・26	金	富山の港湾と貿易 —中古車輸出を中心に—	
6	9・6	金	最近の地方公共交通政策の考え方とまちづくり政策	富山国際大学 名誉教授 長尾 治明
7	9・20	金	富山の商業環境	
8	10・4	金	【現地学習】 中心市街地の見学 —総曲輪・西町・中央通り編—	富山大学学術研究部人文科学系 教授 大西 宏治
9	10・25	金	【現地学習】 中心市街地の見学 —富山駅編—	
10	11・8	金	富山の農林水産業と食	

## 103 立山黒部ジオパークを知る

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・22	水	ジオパークって何? ー立山黒部ジオパークの概要ー	立山黒部ジオパーク協会 事務局長 今堀喜一
2	6・12	水	ジオサイト松倉金山跡の"跡"をめぐる	魚津埋没林博物館 学芸員 佐藤真樹
3	6・26	水	立山黒部ジオパークの火山とその恵み	富山市科学博物館 主査学芸員 増渕佳子
4	7・10	水	立山の地形と氷河	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 福井幸太郎
5	7・24	水	植物から見た立山黒部ジオパークの現在・過去・未来	魚津埋没林博物館 館長 石須秀知
6	8・28	水	富山平野のジオヒストリー:海と山の攻防	立山黒部ジオパーク協会 学術顧問 竹内章
7	9・11	水	立山の自然と信仰ー立山曼荼羅の図像からー	富山県 [立山博物館] 学芸員 坂口舞
8	9・25	水	変化する気候の中での富山湾と日本海	富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 田口文明
9	10・9	水	黒部の地形と水循環	黒部市吉田科学館 学芸員 野寺凜
10	10・23	水	地震がつくる富山の風土	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 丹保俊哉

## 104 郷土の歴史

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・16	木	前田利長と富山	市郷土博物館 主査学芸員 萩原大輔
2	5・30	木	飛越往来と西猪谷関所	猪谷関所館 元館長 舟杉克巳
3	6・20	木	八尾の文化 ~曳山彫刻とおわらの変遷~	富山県民謡越中八尾おわら保存会 資料編纂部長 嘉藤稔
4	7・4	木	牛ヶ首用水の開削	とやまふるさとの会 顧問 五十嵐清
5	7・18	木	打出遺跡と弥生時代の鉄器づくり	市民俗民芸村 主幹学芸員 小黒智久
6	9・5	木	法隆寺百万塔と富山	市郷土博物館 学芸員 浦畑奈津子
7	9・19	木	翁久允と富山 ー続・戦時中の『高志人』	富山大学学術研究部教養教育学系 准教授 水野真理子
8	10・3	木	富山の博覧会 ー人々は博覧会に何を見たのかー	市教育委員会生涯学習課 文化財係長 尾島志保
9	10・17	木	全国唯一の奇想天外な2棟の建物 「復原! 富山城御涼所と呉羽七面堂」	専門学校職藝学院 学院長・教授 上野幸夫
10	11・7	木	市電開業111年	市郷土博物館 館長 坂森幹浩

## 105 地域の歴史遺産を巡る考古学

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・10	金	国史跡 直坂遺跡、県史跡 東黒牧上野遺跡 －富山市南部の旧石器～縄文時代－	市埋蔵文化財センター 学芸員 納屋内高史
2	5・24	金	国史跡 王塚・千坊山遺跡群 －婦負のクニ 杉谷四号墳など－	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 堀内大介
3	6・14	金	国史跡 北代遺跡 －北陸最大級の縄文中期集落遺跡－	市埋蔵文化財センター 専門学芸員 細辻嘉門
4	6・28	金	市史跡 堀I遺跡 －中世～近世の墳墓－	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 堀内大介
5	7・12	金	市指定文化財 遮光器土偶 －原始・古代のいのりとまじない－	市埋蔵文化財センター 所長 堀沢祐一
6	9・13	金	県史跡 金草第一古窯跡、市史跡 枋谷南遺跡 －古代の窯業生産と寺院・役所－	市埋蔵文化財センター 学芸員 泉田侑希
7	9・27	金	市史跡 中地山城跡、城生城跡、大道城跡 －富山市南部の山城からみる戦国時代－	市埋蔵文化財センター 主任学芸員 宮田康之
8	10・11	金	国史跡 安田城跡 －戦国時代の平城－	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 近藤顕子
9	10・25	金	国史跡指定相当の埋蔵文化財 富山藩主前田家墓所(長岡御廟所)	市埋蔵文化財センター 主査学芸員 野垣好史
10	11・8	金	市史跡 越中丸山焼陶窯跡 －近世の陶磁器生産と流通－	市埋蔵文化財センター 主幹学芸員 鹿島昌也

## 106 日本の歴史

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・22	水	縄文時代の食料事情について －主に北陸をテーマとして－	敬和学園大学人文社会科学研究所 客員研究員 藤田富士夫
2	6・12	水	平安時代の末法思想とその後 －主に経塚をテーマとして－	
3	6・26	水	埴生八幡文書が語る戦国の世界	とやま歴史的環境づくり研究会 代表 高岡 徹
4	8・7	水	足利義持期の室町幕府	金沢学院大学文学部 教授 本多俊彦
5	8・28	水	江戸時代の地獄思想	富山県立伏木高等学校 校長 高野靖彦
6	9・11	水	南北朝の動乱－中央と地域の様相－	富山県公文書館 史料調査専門員 高森邦男
7	9・25	水	戦国～江戸時代の村と百姓	富山大学学術研究部教育学系 准教授 中村只吾
8	10・9	水	松倉城とその戦国史	とやま歴史的環境づくり研究会 代表 高岡 徹
9	10・23	水	明治維新と越中	富山近代史研究会 会長 城岡朋洋
10	11・13	水	地域近代化と歴史遺産	

## 107 世界の歴史

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室 1  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・13	月	ユーラシアの東西	富山大学学術研究部教育学系 教授 徳橋 曜
2	5・27	月	イスラーム世界の形成と展開	
3	6・10	月	13世紀の世界	
4	6・24	月	16~17世紀の世界1	
5	7・8	月	16~17世紀の世界2	
6	9・9	月	16~17世紀の世界3	
7	9・30	月	18世紀の世界	
8	10・7	月	19世紀の世界1	
9	10・28	月	19世紀の世界2	
10	11・11	月	20世紀の世界	

## 108 中国史に学ぶ「『史記』平準書と貨殖列伝を読む」

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室 1  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・9	木	『史記』平準書と貨殖列伝	富山大学学術研究部人文科学系 教授 徳永洋介
2	5・23	木	重農と貨殖 —春秋戦国の社会変革—	
3	6・13	木	古代中国の素封家たちⅠ	
4	6・27	木	古代中国の素封家たちⅡ	
5	7・11	木	重農論と貨幣論 —賈誼・鼂錯・董仲舒—	
6	9・12	木	匈奴戦争と統制経済Ⅰ —和親から攻勢へ—	
7	9・26	木	匈奴戦争と統制経済Ⅱ —酷吏の登場—	
8	10・10	木	匈奴戦争と統制経済Ⅲ —塩鉄の専売と流通統制—	
9	10・24	木	桑弘羊の活躍 —財務官僚の時代—	
10	11・14	木	むすびの言葉 —司馬遷の経済論—	

## 109 食と住の文化史

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・16	木	食の文化論Ⅳ - 果物・菓子の甘味文化 -	越中史壇会 副会長 木本秀樹
2	5・30	木	加賀藩の將軍献上と海・山・川の産物	かなざわ食マネジメント専門職大学 助教 安藤 竜
3	6・13	木	加賀藩領の発酵食文化 - スシを中心に -	
4	6・27	木	食べものづくり - とって、つくって、たべて -	市郷土博物館 主幹学芸員 中本八穂
5	7・11	木	米・餅と日本人 - 多様さ・願い・敬い -	越中史壇会 副会長 木本秀樹
6	9・12	木	住の文化論Ⅲ - 歴史的建造物からみた富山の住文化 -	レトロフィット代表 早稲田大学理工総研 研究員 森本英裕
7	9・26	木	くらしから変わる住まいⅡ - こんなに変わったアノ家、コノ家 -	市郷土博物館 主幹学芸員 中本八穂
8	10・10	木	住の民俗誌 - 神仏とともに住まう -	富山民俗の会 代表 森 俊
9	10・24	木	北陸の民家と町家	金沢工業大学建築学科 教授 山崎幹泰
10	11・14	木	<small>ていおくいちによ</small> 庭屋一如 - すまいと庭 -	レトロフィット代表 早稲田大学理工総研 研究員 森本英裕

## 110 歴史史料をひもとく

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2ほか  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・20	月	近世史料をよむ - 江戸時代の戸籍 送る人・走る人 -	富山県公文書館 史料調査専門員 認証アーキビスト 榮 夏代
2	6・3	月	近世史料をよむ - 富山藩の藩札発行 苦しい台所事情 -	
3	6・17	月	近代史料をよむ - 一兵卒が見た日露戦争 -	
4	7・1	月	中世史料をよむ - 武士の土地支配・年貢 -	市民俗民芸村 学芸員 兼子 心
5	7・22	月	中世史料をよむ - 貨幣と貿易 -	
6	8・19	月	中世史料をよむ - 幕府の始まり、終わりの戦 -	
7	9・2	月	古代史料をよむ - 人身支配と社会 -	越中史壇会 副会長 木簡学会員
8	9・30	月	古代史料をよむ - 海を渡った人びと -	木本秀樹
9	10・21	月	【現地学習】(会場: 富山市民俗民芸村 民俗資料館) 民俗資料の収集・保存〈民俗資料をよむ〉	木本秀樹・榮 夏代・兼子 心
10	11・11	月	古代史料をよむ - 東北経営と古代の「道」 -	越中史壇会 副会長 木簡学会員 木本秀樹

\*参考図書(必要な方は購読してください。)'『詳説 日本史史料集 再訂版』(山川出版社) 723円(税込)

## 111 古典歌謡への旅

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・14	火	りょうじん ひししょう 梁塵秘抄から(1)	富山工業高等専門学校 元教授 武部弥十武
2	5・28	火	梁塵秘抄から(2)	
3	6・11	火	梁塵秘抄から(3)	
4	6・25	火	梁塵秘抄から(4)	
5	7・9	火	梁塵秘抄から(5)	
6	9・10	火	閑吟集から(1)	
7	9・24	火	閑吟集から(2)	
8	10・8	火	閑吟集から(3)	
9	10・22	火	閑吟集から(4)	
10	11・12	火	閑吟集から(5)	

\*テキストは、各自購入してください。植木朝子編『梁塵秘抄』(角川ソフィア文庫)704円(税込)  
真鍋昌弘校注『閑吟集』(岩波文庫)1,320円(税込)

## 112 おくのほそ道をよむ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・15	水	俳諧と芭蕉	富山高等専門学校の 名誉教授 高熊哲也
2	5・29	水	序章 草の戸も住替る代ぞひなの家 旅立 行春や鳥啼魚の目は泪	
3	6・19	水	日光 あらたうと青葉若葉の日の光 白川の関 卯の花をかざしに関の晴着かな(曾良)	
4	7・3	水	平泉 夏草や兵どもが夢の跡 卯の花に兼房みゆる白毛かな(曾良) 五月雨の降り残してや光堂	
5	7・17	水	立石寺 閑さや岩にしみ入蟬の声 最上川 五月雨をあつめて早し最上川	
6	9・4	水	象潟 象潟や雨に西施がねぶの花	
7	9・18	水	一(市)振 一家に遊女もねたり萩と月	
8	10・2	水	那古の浦 わせの香や分入右は有磯海 金沢 塚も動け我泣声は秋の風	
9	10・16	水	小松 むざんやな甲の下のきりぎりす 那谷 石山の石より白し秋の風 山中 山中や菊はたおらぬ湯の匂	
10	11・6	水	大垣 蛤のふたみにわかれ行秋ぞ	

\*参考図書(必要な方は購読してください。)'おくのほそ道 芭蕉が歩いた北陸'(北國新聞社)1,760円(税込)

## 113 漢詩漢文の世界へ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室 2  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・10	金	I 漢文の読み方・句法	県立富山高等学校 元副校長 高倉知成
2	5・24	金	II 漢詩(1) 自然・四季	
3	6・7	金	II 漢詩(2) 情愛・友情	
4	6・21	金	II 漢詩(3) 望郷・征戦	
5	7・5	金	II 漢詩(4) 日本の漢詩	
6	9・13	金	III 語録・名言選	
7	9・27	金	IV 故事・寓話	
8	10・11	金	V 思想(1) 老子・荘子	
9	10・25	金	V 思想(2) 論語	
10	11・15	金	V 思想(3) 論語	

## 114 古文入門～古文の世界に息づく人々～

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室 1  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・14	火	貴公子に愛された妻 「蜻蛉日記」 1	富山短期大学 非常勤講師 沢井友義
2	5・28	火	貴公子に愛された妻 「蜻蛉日記」 2	
3	6・11	火	歴史物語はどう描いているか 「大鏡・藤原兼家(道長父)」	
4	6・25	火	後宮を垣間見る 「枕草子」 1	
5	7・9	火	後宮を垣間見る 「枕草子」 2	
6	9・10	火	「源氏物語」はいかにして生まれたか	
7	9・24	火	「源氏物語」物語の主軸を読む 1	
8	10・8	火	「源氏物語」物語の主軸を読む 2	
9	10・22	火	「源氏物語」物語の主軸を読む 3	
10	11・12	火	まとめ「紫式部日記」から	



## 115 江戸時代の文学を読む

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・15	水	はじめにー近世(江戸時代)の文学 井原西鶴『好色一代女』巻一「 <small>ろうじよのかくれが</small> 老女隠家」	富山県立大学 非常勤講師 奥野美友紀
2	6・5	水	井原西鶴『好色一代女』巻一	
3	6・19	水	井原西鶴『好色一代女』巻二	
4	7・3	水	井原西鶴『好色一代女』巻二・三	
5	7・17	水	井原西鶴『好色一代女』巻三・四	
6	9・4	水	井原西鶴『好色一代女』巻四	
7	9・18	水	映像で観る近世文学	
8	10・2	水	井原西鶴『好色一代女』巻五	
9	10・16	水	井原西鶴『好色一代女』巻五・六	
10	11・6	水	井原西鶴『好色一代女』巻六「 <small>みなおもはくのごひやくらかん</small> 皆思謂五百羅漢」 まとめ	

\*テキストは、各自購入してください。村田穆校注『新潮日本古典集成(新装版)好色一代女』(新潮社)2,090円(税込)

## 116 暮らしを彩る短歌の楽しみ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・24	金	・短歌づくりのヒントあれこれ ・詠む楽しさ、共感する楽しさ	WEBサイトとやまの詩歌 主掌 木下 晶
2	6・7	金	・身近な春の事物や想いをよむ ・和歌から現在短歌まで	
3	6・21	金	・「歌会始め」を楽しむ ・五感とともに心の動きをとらえる	
4	7・5	金	・初夏の事物や想いをよむ ・口語と文語のコツ	
5	7・19	金	・夏の事物と想いをよむ ・句切れと句またがり	
6	9・6	金	・祭りの周辺と想いをよむ ・推敲の方法あれこれ	
7	9・20	金	・秋の事物と想いをよむ ・オノマトペとリフレイン	
8	10・4	金	・秋の事物と想いをよむ ・体現止め・対句表現	
9	10・18	金	・通期の作品のまとめ ・セミナー冊子づくりの準備	
10	11・8	金	・セミナー作品を一冊にまとめる ・グループ対話し共感を広げる	

\*受講者同士で、感想などを語り合う時間を設けます。

## 117 俳句入門

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・8	水	今年度の方針と流れ 私の俳句観 俳句の基礎・基本 句会の心得	富山県俳句連盟 幹事 森川敬三
2	5・29	水	句会(1) 当季雑詠 俳句の歴史	
3	6・26	水	句会(2) 当季雑詠 季語とその本意・本情	
4	7・10	水	句会(3) 当季雑詠 五・七・五と無理のない字余り・字足らず	
5	7・31	水	句会(4) 当季雑詠 切れの在り処と切れの効用 推敲の仕方	
6	8・28	水	句会(5) 当季雑詠 俳句の読解・鑑賞と評価 兼題句の作り方	
7	9・25	水	句会(6) 当季雑詠(内1句は兼題句) 作句のコツ 吟行のコツ	
8	10・9	水	句会(7) (吟行句会) 会場近傍の吟行	
9	10・23	水	句会(8) 当季雑詠(内1句は兼題句) 俳句の種類・自分に合った俳句	
10	11・13	水	句会(9) 当季雑詠(内1句は兼題句) 学び続けるために	

\*原則、事前投句とします。(投句方法は、初回に説明します。)

## 118 川柳を楽しむ

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・13	月	川柳の基本形／川柳の流れ／音の数え方・投句の仕方	川柳えんぴつ誌 編集長 カラット 代表 竹内勤子
2	5・27	月	古川柳と現代の川柳／まずは作ってみよう／名句鑑賞	
3	6・10	月	課題を詠む／テーマの考え方／言葉の選び方	
4	6・24	月	富山の川柳作家／助詞の選び方／みんなの作品鑑賞	
5	7・8	月	課題吟と自由吟／伝統川柳と現代川柳	
6	8・26	月	印象吟について／席題に挑戦	
7	9・9	月	過去の大会作品から／作品を鑑賞してみる	
8	10・7	月	感性をみがく／一句鑑賞	
9	10・28	月	時事川柳／今年のニュースから詠む	
10	11・18	月	今年の川柳大会作品／まとめ	

## 119 文学へのいざない

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 25名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・22	水	北日本文学賞 「疾風迅雷、駆け抜ける」	富山県芸術文化協会 名誉会長 吉田 泉
2	6・12	水	志賀直哉 『清兵衛と瓢箪・網走まで』から 「網走まで」(新潮文庫)	
3	6・26	水	司馬遼太郎 『大坂侍』から 「大坂侍」(講談社文庫)	
4	7・10	水	向田邦子 『隣の女』から 「隣の女」(文春文庫)	
5	7・24	水	ヘルマン・ヘッセ 『シッダールタ』(新潮文庫)	
6	9・11	水	夏目漱石 『夢十夜』から 「夢十夜」(岩波文庫)	
7	9・25	水	西條奈加 『心淋し川』(集英社)	
8	10・9	水	夢野久作 『空を飛ぶパラソル』から 「空を飛ぶパラソル」(角川文庫)	
9	10・23	水	村上春樹 『東京奇譚集』から 「偶然の旅人」(新潮文庫)	
10	11・13	水	モーム短編集Ⅰ 『雨・赤毛』から 「雨」(新潮文庫)	

\*テキストとしてその都度、必要な書籍を購読してください。

## 120 朗読を楽しもう

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室2  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・9	木	○発声(練習)・朗読の基礎について  ○声に出して読む ・ 絵本 ・ 民話・昔話 ・ 小説(現代・時代物) ・ 詩・短歌・俳句・川柳等 ・ エッセイ ・ 落語(絵本) ・ 朗読劇 ・ 群読  ○自分の好きな文章を人前で読む(発表)	朗読グループ「言の葉」 代表 立田ひろみ
2	5・30	木		
3	6・13	木		
4	6・27	木		
5	7・11	木		
6	9・12	木		
7	9・26	木		
8	10・10	木		
9	10・31	木		
10	11・7	木		

## 121 落語のはなし

[会場] 市民プラザ南側4階 アンサンブルホール  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 140名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・17	金	落語実演(1)	落語家 三遊亭良楽
2	5・31	金	落語よもやまばなし その1	
3	6・14	金	落語よもやまばなし その2	
4	6・28	金	落語よもやまばなし その3	
5	7・12	金	落語実演(2)	
6	9・13	金	落語よもやまばなし その4	
7	9・27	金	落語よもやまばなし その5	
8	10・11	金	落語よもやまばなし その6	
9	10・25	金	落語よもやまばなし その7	
10	11・15	金	落語実演(3)	

\*予告なく学習題が変更になることがあります。

## 122 日本の歌、世界の歌

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1ほか  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 50名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・16	木	日本の歌 その1 童謡・唱歌~日本の西洋音楽の夜明け~	音楽プロデューサー 宮原麻子
2	5・30	木	日本の歌 その2 童謡・唱歌から「みんなのうた」へ	
3	6・13	木	日本の歌 その3 日本人作曲家による日本歌曲	
4	6・27	木	日本の歌 その4 言葉・音階~Jポップにも繋がる?	
5	7・11	木	【公開講座】(会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール) 日本の歌 その5 叙情歌・歌曲、名曲あれこれ	
6	9・12	木	世界の歌 その1 中世・ルネッサンス・バロック時代の歌	
7	9・26	木	世界の歌 その2 歌曲(1)	
8	10・10	木	世界の歌 その3 歌曲(2)	
9	10・24	木	世界の歌 その4 華麗なるオペラ・オペレッタの世界	
10	11・7	木	【公開講座】(会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール) 世界の歌 その5 世界の名歌・愛唱歌	

\*アシスタント:堀江季理子(メゾ・ソプラノ) 中川歩美(ピアノ)

## 123 音楽サロン

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1ほか  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	4・23	火	18~20世紀、欧米の音楽(1) -歌、器楽、管弦楽鑑賞-	声楽家 松本明子
2	5・14	火	18~20世紀、欧米の音楽(2) -歌、器楽、管弦楽鑑賞-	
3	5・28	火	18~20世紀、欧米の音楽(3) -歌、器楽、管弦楽鑑賞-	
4	6・11	火	18~20世紀、欧米の音楽(4) -歌、器楽、管弦楽鑑賞-	
5	7・9	火	18~20世紀、欧米の音楽(5) -歌、器楽、管弦楽鑑賞-	
6	9・10	火	18~20世紀、欧米の音楽(6) -歌、器楽、管弦楽鑑賞-	
7	9・24	火	18~20世紀、欧米の音楽(7) -歌、器楽、管弦楽鑑賞-	
8	10・15	火	18~20世紀、欧米の音楽(8) -歌、器楽、管弦楽鑑賞- (会場:市民プラザ南側4階アンサンブルホール) 演奏:松本 明子ほか	
9	10・29	火	18~20世紀、欧米の音楽(9) -歌、器楽、管弦楽鑑賞-	
10	11・12	火	18~20世紀、欧米の音楽(10) -歌、器楽、管弦楽鑑賞-	

## 124 女声合唱

[会場] 市民プラザ南側4階 アンサンブルホール  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 80名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・15	水	●発声法を学び、楽しい合唱を通じ音楽に親しむ。  ○女声合唱のための童謡メドレー 「いつの日か」 編曲:源田俊一郎	指揮 ヴォーチェ・カナリーノ 主宰 瀬戸和江  ピアノ オンディース 主宰 椎名富美子
2	5・22	水		
3	6・5	水		
4	6・19	水		
5	7・3	水		
6	7・10	水		
7	9・11	水		
8	9・18	水		
9	9・25	水		
10	10・9	水		
11	10・23	水		
12	10・30	水		
13	11・6	水		
14	11・13	水		
15	11・20	水		

\*テキストは、初回に販売します。『女声合唱のための童謡メドレー「いつの日か」』1,870円(税込)

\*例年、大学祭でステージ発表を行っています。

## 125 リコーダー演奏を楽しもう

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・20	月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リコーダーを吹こう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指の使い方について</li> <li>・ 舌の使い方について</li> <li>・ 息の使い方について</li> </ul> </li> <li>○ 楽譜を読もう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽の約束事について</li> <li>・ 実際の楽譜の読み方について</li> <li>・ 作曲家(編曲者)の「願い」について</li> </ul> </li> <li>○ アンサンブルを楽しもう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 耳を働かせて</li> <li>・ 目を働かせて</li> <li>・ 心を働かせて</li> </ul> </li> <li>○ レパートリーを増やそう</li> </ul>	リコーダー・アンサンブル「パレット」 バス・リコーダー奏者 大坪 史尚
2	6・3	月		
3	6・17	月		
4	7・1	月		
5	7・29	月		
6	9・2	月		
7	9・30	月		
8	10・7	月		
9	10・21	月		
10	11・18	月		

\*アシスタント: 大坪 仁子(リコーダー・アンサンブル「パレット」テナー・リコーダー奏者)

\*テキストは、初回に販売します。『ソプラノリコーダー初歩の初歩入門』1,320円(税込)

\*初回、お持ちの方は、ソプラノリコーダーを持参してください。お持ちでない方は購入できます。(2,000円程度)

## 126 世界の国々

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・17	金	中国、どこまで知っているでしょう	富山県外国人ワンストップ相談センター 相談員 増山 暁 潔
2	5・31	金	アジアの光と呼ばれるお釈迦様の物語とネパールの仏教文化	富山ネパール文化交流協会 会長 ダルマ・ラマ
3	6・7	金	アメリカの文化: 移民と多様性の国	富山県国際交流員 アリス・リース
4	6・21	金	地球の裏側 ブラジルにあるもうひとつの「富山」	市立岩瀬中学校 教諭 中村健太郎
5	7・5	金	韓国、どこまで知ってる?	富山県国際交流員 李 該 敏
6	8・23	金	タイと日本のつながり	市立新庄北小学校 教諭 岸 美乃莉
7	9・13	金	日本人が知らないベトナムのこと	富山県国際交流員 グエン・ティ・タオ
8	9・27	金	知っているようで知らないロシア	金沢大学・富山県立伏木高等学校 非常勤講師 ボンダレンコ・オクサナ
9	10・11	金	アフリカの歴史から学ぶ ーアフリカと日本のつながりー	日本学術振興会 特別研究員 ハーバード大学 ポスドクフェロー 大平和希子
10	11・8	金	インドはカレーとヨガだけじゃない! ~多様性あふれるインドを知ろう~	富山県国際交流員 バーガワトゥラ・シリラリティヤ

## 127 美術の世界

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1ほか  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 30名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・21	火	奈良・唐招提寺の歴史と美術	富山大学学術研究部芸術文化学系 准教授 三宮千佳
2	5・28	火	【現地学習】(会場:富山市ガラス美術館) 回顧展:大平洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ	市ガラス美術館 主任学芸員 高橋由佳/学芸員 米田結華
3	7・23	火	【現地学習】(会場:富山県美術館) 民藝-MINGEI 美は暮らしのなかにある	富山県美術館 学芸員 内藤和音
4	8・20	火	影絵から広がる世界	影絵師 ジャック・ランダル
5	9・3	火	【現地学習】(会場:富山県水墨美術館) 没後100年 富岡鉄斎	富山県水墨美術館 学芸員 金山 謡
6	9・17	火	【現地学習】(会場:富山市ガラス美術館) 富山ガラス大賞展2024	市ガラス美術館 主任学芸員 浅田真帆/主任学芸員 中島春香
7	10・1	火	【現地学習】(会場:富山県水墨美術館) (仮)摘水軒コレクション展	富山県水墨美術館 学芸課長 桐井昇子
8	10・15	火	【現地学習】(会場:富山市佐藤記念美術館) 特別展「漆芸家 川西重澄の全貌」	市佐藤記念美術館 専門学芸員 川上貴裕
9	10・29	火	【現地学習】(会場:富山県美術館) 第14回 世界ポスタートリエンナーレトヤマ2024	富山県美術館 副主幹 稲塚展子
10	11・5	火	中国の絵画、山水画について	富山大学学術研究部芸術文化学系 准教授 三宮千佳

\*【現地学習】は現地集合・現地解散となり、観覧料が必要です。

\*美術館等の事情により、観覧前の座学での講義や観覧中のギャラリートークができない場合があります。

## 128 暮らしの中の和漢医薬学

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1ほか  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・17	金	漢方医学の基本的な考え方	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 柴原直利
2	6・7	金	和漢薬の飲み方、効かせ方	富山大学附属病院薬剤部 教授 加藤 敦
3	6・21	金	健康寿命延長と和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 東田千尋
4	7・5	金	あぶらを選んで健やかに生きる	富山大学和漢医薬学総合研究所 准教授 渡辺志朗
5	7・19	金	がんと和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 早川芳弘
6	9・6	金	和漢薬は目覚まし時計 :さぼっている生体機能を生薬チームが呼び覚ます	富山大学和漢医薬学総合研究所 准教授 東田道久
7	9・20	金	1. 数学で「未病」状態を見つける 2. 漢方薬はナノ医薬品	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 小泉桂一
8	10・4	金	生活習慣病に対する和漢薬	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 中川 嘉
9	10・18	金	植物はなぜ薬をつくるのか?	富山大学和漢医薬学総合研究所 教授 庄司 翼
10	11・1	金	【現地学習】 (会場:富山大学和漢医薬学総合研究所 民族薬物資料館)	富山大学和漢医薬学総合研究所 名誉教授 小松かつ子/技能補佐員 出口鳴美

## 129 健康生活の知恵

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側) 4階 講義室1  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・10	金	日本の睡眠の実情と課題	富山大学 名誉教授 神川康子
2	5・24	金	睡眠を改善して健康と生活の質(QOL)をUP!	
3	6・14	金	セルフメディケーション① 知っておきたい薬の知識	富山短期大学食物栄養学科 准教授 藤田恭輔
4	6・28	金	セルフメディケーション② 健康食品とのつきあい方	
5	7・12	金	植物資源が持つ長寿への貢献	富山県深層水協議会 顧問 葎田隆治
6	9・6	金	富山で医食同源を楽しむ	富山大学 名誉教授 鏡森定信
7	9・20	金	健康と食生活の関わり —少しの工夫で健康に—	富山大学学術研究部教育学系 准教授 藤本孝子
8	10・4	金	健康生活とウェルビーイング	富山大学学術研究部医学系 助教 立瀬剛志
9	10・18	金	健康寿命を延ばす食事	管理栄養士 新村典子
10	11・1	金	医師が奨める温浴・サウナの利用法	富山大学 名誉教授 鏡森定信

## 130 豊かな心

[会場] 市民プラザ南側4階 アンサンブルホール  
[時間] 9:45~11:45 / [定員] 130名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・16	木	第三のみち	富山国際大学 元教授 永田円了
2	5・30	木	人生をゆさぶる	
3	6・13	木	問題か課題か	
4	6・27	木	生命力を鍛える	
5	7・18	木	ファシリテーター	
6	9・5	木	三つの主人	
7	9・19	木	バイアスという戦場	
8	10・17	木	ザ・ビートルズ	
9	10・31	木	こころの主旋律	
10	11・14	木	ネガティブ ケイパビリティ	



## 131 リズム体操

[会場] 市民プラザ2階 アトリウム  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 30名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・14	火	◇身体ほぐし体操 ・ やさしい呼吸法 ・ ハンドマッサージ ・ 体と対話しながら行う体操  ◇リズム体操 ・ バランスのとれた全身運動 ・ 血行促進 ・ 若さと健康保持  ◇美容と健康のための体づくり ・ 肩こり、腰痛、ひざの痛み予防 ・ 全身のシェイプアップ  ◇クールダウン ・ 柔軟性を高める体操 ・ ゆったりストレッチ	体操インストラクター 田中裕子
2	5・21	火		
3	6・4	火		
4	6・11	火		
5	6・18	火		
6	7・2	火		
7	7・9	火		
8	7・16	火		
9	9・24	火		
10	10・1	火		
11	10・8	火		
12	10・22	火		
13	10・29	火		
14	11・19	火		
15	11・26	火		

\*毎回、運動のできる服装・靴で受講し、熱中症対策に飲み物をお持ちください。(必要な方は着替えも。)

\*ストレッチの際、床に座りますので、必要な方は敷く物(バスタオルなど)を準備してください。

\*例年、大学祭でステージ発表を行っています。

## 132 100歳まで歩こう

[会場] 市民プラザ2階 アトリウム  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 30名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・15	水	●ストレッチングで心も体もしなやかに！  ・ のんびり、ゆったり 心と体を軽やかに  ・ 健やかな毎日を過ごすための体力づくり  ・ 穏やかな毎日を過ごすための心づくり  *第1~5回は、バスタオル、フェイスタオルをお持ちください。	日本スポーツ協会公認スポーツ指導員 辰尾妙子
2	5・29	水		
3	6・12	水		
4	6・26	水		
5	7・10	水		
6	9・4	水	●ノルディック・ウォーク&ノルディック・エクササイズ  ・ ノルディック・ウォークの起源・効果・効能  ・ ノルディック・ウォークの歩行解析  ・ 生活習慣病とロコモティブシンドローム  *第6~10回は、屋外を歩きます。 貴重品を身に付けられるカバンや、帽子、タオル等 必要なものを各自準備してください。	全日本ノルディック・ウォーク連盟 専門講師 田中 洋
7	9・25	水		
8	10・9	水		
9	10・16	水		
10	10・23	水		

\*毎回、運動のできる服装(ジーンズは不可)・靴で受講し、熱中症対策に飲み物をお持ちください。(必要な方は着替えも。)

\*第6~10回は、万が一のケガ等に対応するためレクリエーション保険にご加入いただきます。(200円程度)

## 133 暮らしの実学

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・15	水	消費者トラブルとその対処法	金融広報アドバイザー (消費生活専門相談員・行政書士) 古村理栄子
2	5・29	水	人生100年時代の健康づくり	角川介護予防センター 健康運動指導士 沖 直哉
3	6・19	水	金融取引の基礎知識と金融トラブル	富山財務事務所理財課 主任調査官 松本 穰
4	7・3	水	最後まで私らしく①ー成年後見を知るー	高岡法科大学 専任講師 後藤 亜季
5	7・17	水	最後まで私らしく②ー成年後見を知るー	
6	9・4	水	物・心・情報を整えるあったかい生前整理	整理収納アドバイザー 浮田美紀子
7	9・18	水	薬や健康食品の選び方・使い方	富山短期大学食物栄養学科 准教授 藤田 恭輔
8	10・2	水	セカンドライフと生命保険	(公財)生命保険文化センター生活情報室 専任講師 山口良司
9	10・16	水	豊かに生きるための図書館活用術	市図書館 主任司書 工藤 崇人
10	11・6	水	もしもの災害に備えて	市防災危機管理課 専門気象予報士 宇田 英史

## 134 楽しい法律

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)4階 講義室1ほか  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 60名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・11	土	家族と法律 I ー夫婦ー	弁護士 木下 実
2	6・1	土	家族と法律 II ー親子ー	
3	6・29	土	家族と法律 III ー相続ー	
4	7・6	土	社会生活と法律 I ー事故・災害ー	
5	7・27	土	社会生活と法律 II ー仕事ー	
6	9・7	土	財産と法律 I ー契約ー	
7	9・28	土	財産と法律 II ー不動産ー	
8	10・26	土	財産と法律 III ー金銭貸借ー	
9	未 定		犯罪と法律 I ー刑事裁判傍聴ー (日程は事前にお知らせします。)	
10	11・2	土	犯罪と法律 II ー犯罪ー	

\*第9回の裁判傍聴は2回実施しますので、うち1回を受講できます。なお、裁判所の都合により平日に実施します。(実施時期は未定です。)

## 135 郷土の料理

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 調理室  
[時間] 9:30~12:00 / [定員] 18名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	4・23	火	旬の春野菜を使ったふるさと料理	管理栄養士 新 村 典 子
2	5・21	火	春の富山湾の料理	
3	6・11	火	夏を元気に過ごすための料理	
4	7・2	火	味わってみようお盆料理	
5	9・10	火	身近な素材で秋の料理	
6	10・1	火	秋の実りを食卓へ	
7	10・22	火	伝えておきたい郷土料理	
8	11・12	火	おばあちゃんの味を大切に	

\*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)・持ち帰り容器・保冷バッグ・保冷剤を持参してください。  
\*初回到材料費(8回分:12,000円)を集金します。材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。  
\*やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

## 136 家庭でできる『やくぜん料理』

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 調理室  
[時間] 9:30~12:00 / [定員] 18名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・14	火	和食は世界で注目される健康食	管理栄養士 新 村 典 子
2	6・4	火	春から夏への食事	
3	6・25	火	夏バテ予防の食事	
4	7・9	火	疲労回復のための食事	
5	9・3	火	美容・美肌のための食事	
6	9・24	火	胃腸にやさしい食事	
7	10・8	火	老化防止のための食事	
8	11・5	火	秋から冬への食事	

\*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)・持ち帰り容器・保冷バッグ・保冷剤を持参してください。  
\*初回到材料費(8回分:12,000円)を集金します。材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。  
\*やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

## 137 季節の和菓子づくり

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 調理室  
[時間] 10:00~12:00 / [定員] 12名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	4・25	木	漉し餡の作り方 柏もち	お菓子教室ももほのか 主宰 清水祥子
2	5・23	木	粒餡の作り方 笹だんご	
3	6・13	木	上用まんじゅう	
4	7・4	木	あやめだんご	
5	9・5	木	フルーツみつ豆	
6	9・26	木	練りきり	
7	10・10	木	栗 最 中	
8	10・31	木	花びらもち	

\*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)・持ち帰り容器を持参してください。  
\*初回に材料費(8回分:12,000円)を収集します。材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。  
\*やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

## 138 スイーツでO・MO・TE・NA・SHI

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 調理室  
[時間] 10:00~12:00 / [定員] 12名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・9	木	母の日に贈るケーキ ロールケーキ	お菓子教室ももほのか 主宰 清水祥子
2	5・30	木	父の日に贈るケーキ プリン	
3	6・20	木	ジュンブライドに贈るケーキ フルーツケーキ	
4	7・11	木	さっぱりとしたデザート チーズケーキ	
5	8・29	木	夏のおもてなしデザート フルーツポンチ	
6	9・12	木	長寿のお祝いのお菓子 小倉カステラ	
7	10・17	木	コーヒーに合うお菓子 エンガディナー・ヌストルテ	
8	11・7	木	紅茶に合うお菓子 アップルパイ	

\*毎回、エプロン・マスク・三角巾・タオル2枚(食器用と手拭用)・持ち帰り容器を持参してください。  
\*初回に材料費(8回分:12,000円)を収集します。材料費の返金はできませんので、なるべく休まないでください。  
\*やむを得ず遅刻や欠席をされる場合は、必ずご連絡ください。

## (2) 創作

### 201 洋画

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ

[時間] 10:00~12:00 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・11	土	画材について 下地作りについて 楽しんで絵を描くこと	一陽会委員 富山県洋画連盟会員  古田 恵子
2	5・25	土	《静物画デッサン》 観察する 物と空間の形を捉える	
3	6・8	土	モチーフの関係性と物語を描く 自身のテーマを探求する	
4	6・22	土	《オートマチックドローイングで素描》 伸びやかな線を描く 構図を練る	
5	6・29	土	心象風景を具現化する 彩色	
6	7・13	土	《人物デッサン》	
7	7・20	土	生きた対象と向き合う	
8	7・27	土	誰もが見慣れている人体の持つ表情の発見	
9	9・14	土	《風景》	
10	9・28	土	外に出て、移り行く季節や変化を発見する 遠近感、消失点を意識する	
11	10・5	土	自身が捉えたもの、着目したもの 自分の物語を思い描く	
12	10・12	土	《自由課題》	
13	10・26	土	自分が主体となり、作品を仕上げる	
14	11・9	土	展示作品の選考	
15	11・16	土	《作品鑑賞会》自身が惹かれるテーマ作品を語る	

\*初回、画材の販売があります。(油彩用一式 33,000円程度) お手持ちの画材があればご使用ください。

\*油彩を中心に水彩も可です。

### 202 日本画

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ

[時間] 13:30~15:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・17	金	画材等の説明 鉛筆デッサン (花、野菜、果物 等)	日展会友 市日本画作家連盟常任理事  大島 麻美
2	5・24	金	鉛筆デッサン (ガラス類)	
3	6・7	金	デッサン (干物 等) 鉛筆デッサン + 顔彩着色	
4	6・14	金	色紙に淡彩で描く	
5	6・28	金	作品の為のデッサン 下図制作	
6	7・12	金	下図トレース 下図着色	
7	7・26	金	作品の下地作り (胡粉のとき方)	
8	8・23	金	作品の下塗り (背景の色等水干絵具で着色)	
9	8・30	金	作品制作・彩色	
10	9・6	金		
11	9・20	金		
12	10・11	金		
13	10・25	金		
14	11・8	金		
15	11・15	金	作品完成・作品講評	

\*初回は、スケッチブック(6号か8号程度)、鉛筆(HB~4B)、消しゴム、花などデッサンする物を持参してください。

\*初回、画材の販売があります。(初心者 15,000円程度)

## 203 版画

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ  
[時間] 9:30~11:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・17	金	木版画 基本彫りⅠ 下絵写し、彫り	版画芸術院会員 矢部美子
2	5・24	金	木版画 基本彫りⅠ 彫り、摺り	
3	6・7	金	木版画 基本彫りⅡ 下絵写し、彫り	
4	6・14	金	木版画 基本彫りⅡ 彫り、摺り	
5	6・28	金		
6	7・12	金	木版画 下絵	
7	7・19	金		
8	9・6	金		
9	9・13	金	木版画 彫り	
10	9・27	金		
11	10・4	金	木版画 試し摺り	
12	10・18	金	木版画 本摺り	
13	10・25	金	捺摺状 下絵	
14	11・8	金	捺摺状 彫り	
15	11・15	金	捺摺状 試し摺り	

\*初回、画材の販売があります。(用具一式 8,000円程度)

\*墨汁を使いますのでエプロン、ぞうきん(古タオル)を持参してください。

## 204 切り絵

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・20	月	切り絵のスタートⅠ (道具・手順の説明とカッティング)	切り絵作家 岩田長峯
2	6・3	月	切り絵のスタートⅡ (カッティング・コピー小品)	
3	6・17	月	切り絵の初歩Ⅰ (カッティング・名前と手)ハガキサイズ	
4	7・1	月	切り絵の初歩Ⅱ (カッティング・名前と手)ハガキサイズ	
5	7・22	月	切り絵の初歩Ⅲ (人形・置物の形の取り方と下絵)	
6	7・29	月	切り絵パステルⅠ (パステルの使い方)名前と手の作品利用	
7	8・26	月	切り絵パステルⅡ (コピー小品又は人形や置物など)ハガキサイズ	
8	9・9	月	切り絵パステルのまとめ (色紙サイズのテーマの準備・背景の説明)	
9	9・30	月	色紙作品にチャレンジⅠ (コピー小品利用又は簡単なオリジナル作品)	
10	10・7	月	色紙作品にチャレンジⅡ (パステル使用)	
11	10・28	月	色紙作品仕上げ(糊づけ)Ⅰ (色紙サイズの仕上げ)	
12	11・11	月	色紙作品仕上げ(糊づけ)Ⅱ (色紙サイズの仕上げ・カラー切り絵・総評)	

\*初回、画材の販売があります。(教材一式 5,500円程度・パステル代含む)

\*毎回メモを取ってください。

## 205 篆刻

[会場] 市民学習センター(市民プラザ北側)3階 アトリエ

[時間] 14:00~16:00 / [定員] 20名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・16	木	篆刻の概要と篆刻三法 (選文・布字・彫刻)	日本篆刻家協会常務理事 大村雪陵
2	6・6	木	篆刻と字源(実技指導)	
3	6・20	木	名前彫り(実技指導)	
4	7・4	木	篆刻作品の見方(実技指導)	
5	7・18	木	石印材と印牋(実技指導)	
6	9・5	木	参考書・辞典の紹介(実技指導)	
7	9・19	木	落款と冠冒印(実技指導)	
8	10・3	木	大学祭出品作品準備	
9	10・17	木	年賀状(実技指導)	
10	11・7	木	篆刻について(総まとめ)	

\*初回、画材の販売があります。(教材・用具一式 9,500円程度)

\*エプロン、古いタオル、筆記用具を持参してください。

## 206 陶芸(前期)A / 207 陶芸(前期)B

[会場] 富山市民大学陶芸実習施設

[時間] 13:30~15:30 / [定員] 各12名

回	A (206)		B (207)		学 習 題	講 師
	月・日	曜	月・日	曜		
1	5・10	金	5・21	火	焼き物の工程について 玉づくりでつくる(飯碗・マグカップ・スープカップなど)	富山県工芸作家連盟会員 中山朱津子
2	5・17	金	5・28	火	前回作品の削り仕上げ	
3	5・24	金	6・4	火	板づくり 巻いてつくる(花入れ・ペン立て・マグカップなど)	
4	5・31	金	6・11	火	板づくり(皿・小鉢など) 加飾を楽しむ	
5	6・7	金	6・18	火	自由制作	
6	6・14	金	6・25	火	素焼きの窯づめ 下絵デザイン 土練り 電動ロクロ体験	
7	6・21	金	7・2	火	素焼きの窯出し 下絵付け 釉がけの準備	
8	6・28	金	7・9	火	釉がけについて	
9	7・5	金	7・16	火	釉がけ 本焼き窯づめ	
10	7・12	金	7・23	火	窯出し 作品講評会 作品渡し	

\*初回に、教材費を集金します。(1,000円程度)

\*エプロン、古いタオル2枚、新聞紙2日分、筆記用具、内履きを持参してください。

\*作業が遅れるので、なるべく休まないでください。また、粘土を持ち帰っての作品制作は、ご遠慮ください。

208 陶芸(後期)A / 209 陶芸(後期)B

[会場] 富山市民大学陶芸実習施設  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 各12名

回	A (208)		B (209)		学 習 題	講 師
	月・日	曜	月・日	曜		
1	8・30	金	9・10	火	焼き物の工程について 玉づくりでつくる(飯碗・マグカップ・スープカップなど)	富山県工芸作家連盟会員 中山朱津子
2	9・6	金	9・17	火	前回作品の削り仕上げ	
3	9・13	金	9・24	火	板づくり 巻いてつくる(花入れ・ペン立て・マグカップなど)	
4	9・20	金	10・1	火	板づくり(皿・小鉢など) 加飾を楽しむ	
5	9・27	金	10・8	火	自由制作	
6	10・4	金	10・15	火	素焼きの窯づめ 下絵デザイン 土練り 電動ロクロ体験	
7	10・11	金	10・22	火	素焼きの窯出し 下絵付け 釉がけの準備	
8	10・18	金	10・29	火	釉がけについて	
9	10・25	金	11・5	火	釉がけ 本焼き窯づめ	
10	11・1	金	11・12	火	窯出し 作品講評会 作品渡し	

\*初回に、教材費を収集します。(1,000円程度)

\*エプロン、古いタオル2枚、新聞紙2日分、筆記用具、内履きを持参してください。

\*作業が遅れるので、なるべく休まないでください。また、粘土を持ち帰っての作品制作は、ご遠慮ください。

\*後期の募集は市広報7月20日号(予定)に掲載します。





### (3) プラネット

#### 301 富山の郷土玩具“土人形”を作ろう

[会場] 大沢野会館 中会議室(1)  
[時間] 13:30~15:30 / [定員] 16名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・21	火	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>粘土 型込めで招き猫、雛人形、天神様などを作る</p> <p>彩色 窯で焼き上げた人形に絵付けする</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: right;"> <p>土人形制作講師  古川 圭子</p> </div> </div>	
2	6・4	火		
3	6・18	火		
4	7・2	火		
5	7・23	火		
6	9・3	火		
7	10・1	火		
8	10・22	火		
9	10・29	火		
10	11・12	火		

\*材料費 4,000 円(粘土代、絵具代、窯焼き代)

\*初回に作成したい土人形の希望をとります。1年の受講で10個以上の土人形が制作できます。

#### 302 日本画(大沢野)

[会場] 大沢野会館 中会議室(1)  
[時間] 10:00~12:00 / [定員] 16名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・2	木	日本画について(画材等の説明) 鉛筆写生	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"></div> <div style="width: 35%; text-align: right;"> <p>日展会友  網谷真佐美</p> </div> </div>
2	5・16	木	鉛筆写生	
3	5・30	木		
4	6・13	木	着彩写生	
5	6・27	木	作品制作の準備、着彩写生	
6	7・4	木		
7	7・18	木	小下絵制作(ねらい、構図、色彩計画)	
8	8・1	木	下図制作	
9	8・8	木	膠・絵具・胡粉等の扱い方	
10	8・22	木	骨描き	
11	8・29	木	作品制作	
12	9・19	木		
13	10・3	木		
14	10・17	木		
15	10・31	木	作品完成・作品講評	

\*初回、画材の販売があります。(初心者 20,000 円程度)

\*初回、お持ちの方は、スケッチブック、鉛筆、ねりゴムを持参してください。

### 303 うまい水のルーツを探る

[会場] 大山会館 中会議室ほか  
[時間] 10:00~12:00 / [定員] 15名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・9	木	常願寺川が作る大地のかたち	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長補佐 丹保俊哉
2	5・23	木	【現地学習】(会場:立山カルデラ砂防博物館) 暴れ川・常願寺川ー治水と砂防の歴史ー	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸員 是松慧美
3	6・6	木	【現地学習】(会場:横江頭首工管理事務所ほか) 水との闘いと用水の歴史	常願寺川沿岸用水土地改良区連合 横江頭首工管理事務所 職員
4	6・20	木	水の源ー立山の雪と氷河を探るー	富山県立山カルデラ砂防博物館 学芸課長 飯田 肇
5	7・11	木	【現地学習】(会場:常西公園小水力発電所ほか) 上滝地区の治水の歴史	上滝地区観光ボランティアガイドの会 金山明美
6	9・12	木	【現地学習】(会場:大山歴史民俗資料館) 富山市民の水がめ:有峰ダムー湖底に沈んだ有峰村ー	大山歴史民俗研究会 山森 潔
7	9・26	木	世界かんがい施設遺産「常西合口用水」の歴史	常西用水土地改良区 事務局長 水谷英二
8	10・10	木	【現地学習】(会場:上下水道局流杉浄水場) 水道水ができるまで	上下水道局 流杉浄水場 職員
9	10・24	木	とやまの水を知ろう/おいしさのワケ	富山県生活環境文化部県民生活課 水雪土地対策班 職員
10	11・7	木	くらしと水ーおいしい水を調べるー	富山国際大学 名誉教授 尾畑納子

\*【現地学習】は現地集合・現地解散となります。また、車での移動が必要な場合があります。

### 304 手作り銀粘土アクセサリー(前期) / 305 手作り銀粘土アクセサリー(後期)

[会場] 婦中ふれあい館 小研修室2  
[時間] 13:30~16:00 / [定員] 各12名

回	前期(304)		後期(305)		学 習 題	講 師
	月・日	曜	月・日	曜		
1	5・14	火	9・10	火	ペンダントトップを作しましょう(1) (デザインを考え造形します)	アクセサリー工房 「ONE PLACE」主宰 後藤千百合
2	5・28	火	9・24	火	ペンダントトップを作しましょう(2) (焼成し、いぶし仕上げにします)	
3	6・11	火	10・8	火	指輪を作しましょう(1) (デザインを考え造形します)	
4	6・25	火	10・22	火	指輪を作しましょう(2) (形成し、焼成します)	
5	7・9	火	11・5	火	指輪を作しましょう(3) (鏡面に磨きます)	

\*材料費(6,300円程度)が必要です。

\*後期の募集は市広報8月5日号(予定)に掲載します。

## 306 飛越往来

[会場] 猪谷関所館  
[時間] 10:00~12:00 / [定員] 15名

回	月・日	曜	学 習 題	講 師
1	5・8	水	安永二年富山藩飛州出兵一件	高山市役所 前・文化財課長 尾崎啓介
2	5・15	水	飛越国境付近の峠にまつわる話	岐阜県山岳連盟 名誉会長 木下喜代男
3	5・22	水	高山の商人と富山藩 その4	飛騨歴史民俗学会 会長 福井重治
4	5・29	水	加賀藩史料から探る飛越往来	こくふ歴まちネット代表 安国寺住職 堀祥岳
5	6・12	水	富山県の石仏たち	日本石仏協会 理事 尾田武雄
6	6・19	水	越飛国境地帯の城館と戦国史	とやま歴史的環境づくり研究会 代表 高岡 徹
7	7・10	水	おわらの変遷	富山県民謡越中八尾おわら保存会 資料編纂部長 嘉藤 稔
8	9・11	水	神通川流域の両生類・爬虫類	富山県生物学会 会員 福田 保
9	9・18	水	神通峡の昔むかし	敬和学園大学人文社会科学研究所 客員研究員 藤田富士夫
10	10・2	水	明治初期の改革と郷土の姿	猪谷関所館 元館長 加藤敏一

\*第6回の講義時間は13:00~15:00です。



